

令和5年度文化庁委託事業 劇場・音楽堂等基盤整備事業 報告書

令和6年3月



はじめに

公益社団法人全国公立文化施設協会では、令和5年度、文化庁より「劇場・音楽堂等基盤整備事業」を受託いたしました。本事業は、劇場・音楽堂等に勤務する職員や文化行政担当者等に対し、必要となる情報収集や提供、研修を実施することにより、劇場・音楽堂等の活性化や実演芸術の振興、舞台の安全管理等を支援、推進をするものです。

本報告書では、本年度に実施した「劇場・音楽堂等基盤整備事業」の概要を取りまとめました。劇場・音楽堂等に勤務する職員や文化行政担当者の皆様が、それぞれの職場で業務を遂行する上でご参考にしていただければ幸いです。

情報提供事業においては、これまで実施してきたホームページやメールマガジンの発信、日常相談業務、支援員の派遣に加え、劇場・音楽堂等の就労状況等に関する調査及び活動状況に関する調査を実施し、報告書を作成いたしました。

研修事業においては、全国アートマネジメント研修会では、昨年に引き続き、オンライン配信とワークショップを実施いたしました。全国舞台技術研修会は、横浜にて研修を行いました。地域別研修会は会場の開催に加えライブ配信を併用するなど、オンラインの活動が定着し、多様な形式で研修を行いました。

各事業の詳細については、各事業報告書及び当協会のホームページに掲載しておりますので、是非ご参照ください。末筆ながら、本年度の事業実施にあたりご支援、ご協力をいただきました関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。

令和6年3月

公益社団法人全国公立文化施設協会

目次

I 劇場・音楽堂等基盤整備事業 事業概要	3
令和5年度文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」	4
II 情報提供事業	6
劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供	7
支援員の派遣による支援	11
日常相談業務対応	17
劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査	20
III 研修事業	22
全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会	23
全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会	33
地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会	35
IV 参考資料	49

I 劇場・音楽堂等基盤整備事業 事業概要

令和5年度文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

令和5年度文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

事業名

令和5年度「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

事業実施期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

事業の趣旨・目的

本事業は、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」（平成24年法律第49号。以下「劇場法」という。）及び「劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針」（平成25年文部科学省告示第60号）を踏まえ、我が国の文化拠点である劇場・音楽堂等（劇場法第2条第1項に規定する劇場、音楽堂等をいう。以下同じ。）において、実演芸術（劇場法第2条第2項に規定する実演芸術をいう。以下同じ。）に関する活動や、劇場・音楽堂等の事業が自主的・主体的に行われるよう情報提供事業及び研修・交流事業を実施することにより、劇場・音楽堂等の活性化のための基盤の整備を行うことを目的とする。

事業内容

【情報提供事業】

- 1 劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供
全国の劇場・音楽堂等の事業や管理・運営に必要な情報を収集し、提供する。
 - (1) 資料等の収集・提供（ホームページ、メールマガジン、電話、FAX、情報コーナー等での情報発信）
 - (2) 専門人材（コーディネーター）の活用促進
 - (3) 新型コロナウイルス感染症への対策内容とその成果に関する情報の収集、提供
- 2 劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援
劇場・音楽堂等の個別課題や地域の課題に対し、各分野の有識者や専門家により各施設のニーズに適切に対応した相談や助言等の支援を行う。
 - (1) 支援員の派遣による支援
 - (2) 日常相談業務対応
 - ①電話、FAX、郵便、電子メール等による相談
 - ②面談による相談
 - ③オンラインによる相談

3 劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年法律第49号）」施行以後の劇場・音楽堂等の取組や課題等を踏まえ、さらなる劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査・分析を行い、今後の劇場・音楽堂等の振興に係る諸施策に資する。

①劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査

調査内容：テーマ「劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査」

調査期間：令和5年10月5日（木）～10月27日（金）（11月30日（木）まで延長）

調査対象：公立施設151施設

②劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査

調査内容：テーマ「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査」

調査期間：令和5年10月18日（水）～11月15日（水）（23日（木）まで延長）

調査対象：国公立施設2,134施設

【研修事業】

1 全国劇場・音楽堂等職員（アートマネジメント・舞台技術）研修会

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的としたアートマネジメントや劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門知識・技術の取得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。

①全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

オンライン配信：令和6年2月1日（木）～3月17日（日）（24日（日）まで延長）

ワークショップ1：令和6年2月14日（水）・15日（木）

ワークショップ2：令和6年2月20日（火）

②全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

開催日：令和5年9月27日（水）～9月28日（木）

会場：KAAT 神奈川芸術劇場

2 地域別劇場・音楽堂等職員（アートマネジメント・舞台技術）研修会

①地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

令和5年9月～令和6年3月

②地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

令和5年11月～令和6年3月

Ⅱ 情報提供事業

劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供

支援員の派遣による支援

日常相談業務対応

劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査

劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供

事業の目的

劇場・音楽堂等や文化芸術に係る情報、資料を広く収集し、わかりやすい方法で希望者に提供することで、劇場・音楽堂等に働く職員の知識、技術の全体の向上を図る。

事業実施期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

事業内容

(1) 資料等の収集・提供（ホームページ、メールマガジン、電話、FAX、情報コーナー等での情報発信）

○提供方法

- ・ホームページでの情報提供
- ・メールマガジンの発行
- ・メールやFAXでの情報提供
- ・情報コーナーの設置

○収集内容

- ・国及び地方公共団体の文化芸術振興施策、助成制度
- ・劇場・音楽堂等の管理や運営に関する統計資料、調査報告
- ・アートマネジメントに関する研修資料、調査報告
- ・舞台技術に関する研修資料、調査報告
- ・人材養成及び確保に関する研修資料、調査報告
- ・経営の安定化に関する資料、調査報告
- ・施設改修に関する資料、調査報告
- ・安全管理に関する資料、調査報告
- ・劇場・音楽堂等施設情報及び公演情報 等

(2) 専門人材（コーディネーター）の活用促進

各分野の専門人材に登録を依頼し、ホームページに公開

(3) 新型コロナウイルス感染症への対策内容とその成果に関する情報の収集、提供

- ・情報を随時ホームページに掲載
- ・メールマガジン等で情報を発信

実施内容

(1) 資料等の収集・提供（ホームページ、メールマガジン、電話、FAX、情報コーナー等での情報発信）

○ホームページでの情報提供

ホームページを活用し、劇場・音楽堂等が必要かつ有益な情報、活動の幅を広げる情報を分かりやすく整理し、提供をする。

〈掲載内容〉

活動支援：施設に対する情報、支援、相談情報等を掲載

（助成金／支援員／相談／よくある質問（FAQ）／改修相談／その他）

研修・イベント：研修会、イベント等の開催情報、募集等を掲載

（全国アートマネジメント研修会／全国舞台技術研修会／地域別アートマネジメント研修会／地域別舞台技術研修会／その他）

政策・制度：国、行政の文化政策に関する情報を掲載

（劇場・音楽堂等関連法規／文化政策／その他）

出版物・資料：公文協発行のハンドブック、書籍、事業実施報告書、調査研究報告書など

○メールマガジンの発行

メールマガジン「全国公文協情報フォーラム」を定期的（原則毎月15日）に発行。主に(1)全国公文協からのお知らせ、(2)ピックアップ、(3)会員等からのお知らせ、(4)コラム、(5)助成金等に関する情報をもとに構成。

発行：第140号（2023/4/17）～第151号（2024/3/15）

臨時号：2023/4/10、2023/5/25、2023/6/1、2023/8/1、2023/12/4、2024/1/10、2024/2/1、2024/3/12

送信数：約5,000通／1回

主な掲載内容：

号	発行日	内 容
第140号	2023/4/17	・文化庁事業採択のお知らせ ・支援員制度 申込開始 ・新任館長対象の研修会 ・〈連載コラム〉「ワークショップリーダー養成講座1」より（第2回） ※助成情報（臨時号を除き毎号掲載）
第141号	2023/5/15	・全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 告知 ・新型コロナウイルス感染症 ガイドライン廃止 ・〈連載コラム〉「ワークショップリーダー養成講座1」より（第3回）
第142号	2023/6/20	・障害者等を対象とした事業実施に向けた人材養成講座（初心者向け研修）募集 ・〈連載コラム〉令和4年度全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会より（第1回）

号	発行日	内 容
第 143 号	2023/7/14	<ul style="list-style-type: none"> ・全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 参加者募集 ・「劇場・音楽堂等による共生社会実現のための人材養成講座」～研修動画公開中～ ・経営環境部会オンラインサロン参加者募集 ・〈連載コラム〉令和4年度全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会より（第2回）
第 144 号	2023/8/15	<ul style="list-style-type: none"> ・全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 参加者募集 ・文化庁 アートキャラバン事業「Go！Go！theater!! 劇場へ行こう!!3」～サイトリニューアル公開～ ・〈連載コラム〉広報について考える～支援員派遣事業より～（第1回）
第 145 号	2023/9/15	<ul style="list-style-type: none"> ・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 告知 ・〈連載コラム〉広報について考える～支援員派遣事業より～（第2回）
第 146 号	2023/10/16	<ul style="list-style-type: none"> ・「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査」ご協力をお願い ・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 開催方法について〈再掲載〉 ・文化庁「文化活動の地域移行に関する実践研究事例集」～令和4年度版公開～ ・「特定受託事業者の係る取引の適正化等の関する法律」について ・〈連載コラム〉広報について考える～支援員派遣事業より～（最終回）
第 147 号	2023/11/15	<ul style="list-style-type: none"> ・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 ワークショップ1「次世代リーダー養成プログラム」受講申込開始 ・「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査」回答期限を延長 ・〈連載コラム〉契約について考える ～契約実務ガイドブックより～（第1回）
第 148 号	2023/12/15	<ul style="list-style-type: none"> ・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 ワークショップ1・2 申込受付中、オンライン配信プログラムについて ・文化庁委託事業「芸術家等実務研修会の実施」を受託 ・〈連載コラム〉契約について考える ～契約実務ガイドブックより～（第2回）
第 149 号	2024/1/15	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁委託事業「芸術家等実務研修会の実施」～開催のご案内～ ・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 オンライン配信申込開始 ・「劇場・音楽堂等による共生社会実現のための人材養成講座」～初任者向け講座の動画を公開～ ・文化庁 令和6年度予算案について
第 150 号	2024/2/15	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁委託事業「芸術家等実務研修会の実施」申込受付中 ・全国アートマネジメント研修会 オンライン配信 申込受付中 ・「劇場・音楽堂等による共生社会実現のための人材養成講座」～経験者向け講座の動画を公開～
第 151 号	2024/3/15	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁・内閣官房委託事業 報告書のご案内 ・活動状況調査、就業状況調査 報告書のご案内 ・文化庁 令和6年度ハラスメント防止対策支援事業 お知らせ

号	発行日	内 容
臨時号	2023/4/10	・令和5年度定時総会・研究大会（那覇隊会）開催について 参加募集を開始
	2023/5/25	・「劇場・音楽堂等による共生社会実現のための人材養成講座」（初心者向け研修）参加者募集を」開始
	2023/6/1	・日本音楽財団・全国公立文化施設協会共同事業「ストラディヴァリウス・コンサート」のお知らせ
	2023/8/1	・全国舞台技術研修会 申込開始 ・障害者等を対象とした 事業実施に向けた人材養成講座 経験者向け講座 参加者募集を開始 ・障害者等を対象とした 事業実施に向けた人材養成講座 動画公開中
	2023/12/4	・「全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会」研修会案内～ワークショップ1・2 申込受付中、オンライン配信について～
	2024/1/10	・文化庁委託事業「芸術家等実務研修会の実施」～対面研修会・オンライン研修会開催のご案内～ ・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会～オンライン配信プログラムの詳細を公開～
	2024/2/1	・「全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会～オンライン配信を開始しました～」
	2024/3/12	・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 配信期間 延長

○情報コーナーの設置

事務所内に情報コーナーを設け、全国の劇場・音楽堂等や、関連団体等からの情報を公開。また、これまで公文協が作成したハンドブック、報告書等も公開している。

(2) 専門人材（コーディネーター）の活用促進

各種専門家をアドバイザー・コーディネーターとして登録。研修会講師や相談員、支援員として派遣。

登録者数：アドバイザー 8名

コーディネーター 50名

(3) 新型コロナウイルス感染症への対策内容とその成果に関する情報の収集、提供

新型コロナウイルス感染症の対策についてガイドラインをはじめ関連情報を随時提供（メールマガジン・ホームページ等）

支援員の派遣による支援

事業の目的

劇場・音楽堂等において、実演芸術に関する活動や、劇場・音楽堂等の事業が自主的・主体的に行われるよう、自主事業の企画・実施、施設の管理・運営等に関する指導助言を行う専門家（以下、「支援員等」という）を派遣し、企画・運営力等の向上を図ることを目的とする。

支援内容（テーマ）

- (1) 運営方針等に関する指導助言
- (2) 年間事業計画に関する指導助言
- (3) 個別の自主企画事業の企画制作に関する指導助言
- (4) 中期計画（3か年程度）の企画立案に関する指導助言
- (5) 劇場・音楽堂等が行う芸術文化活動（創作活動）の企画制作に関する指導助言
- (6) 施設の管理・運営に関する指導助言
- (7) 施設の修繕・改修計画（個別施設計画等）の企画立案に関する指導助言
- (8) 劇場・音楽堂等の新設に関する指導助言（基本構想立案段階でも可）
- (9) 多言語対応、バリアフリーに関する指導助言
- (10) その他劇場・音楽堂等の活性化につながる指導助言

派遣する支援員等

- ・劇場・音楽堂等の活動の活性化に資する文化政策、舞台芸術、管理運営、事業企画、舞台技術、施設改修等の分野に関する有識者又は専門家。
- ・原則として、申込者毎に1名の派遣とする。審査会で支援内容により複数の支援員の派遣が望ましいと判断された場合は、複数の支援員を派遣する。
- ・同じ支援員は、同じ施設等に連続して2年までとする。

派遣対象

1 施設単位を対象に派遣

派遣回数・時間

年間最大3回まで。1回の支援時間は概ね4時間程度。

申込期間

令和5年4月17日（月）～5月5日（金）

審査会

委員：太下 義之（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー
松井 憲太郎（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター
渡辺 日佐夫（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

開催日時：令和5年5月17日（水）13:00～15:00

開催場所：東京都中小企業会館5階会議室

派遣決定件数：37件 70回

実施期間

令和5年6月1日（木）～令和6年1月15日（月）

実施件数

37件 68回

報告書

ホームページに掲載

<https://zenkoubun.jp/support/advice.html>

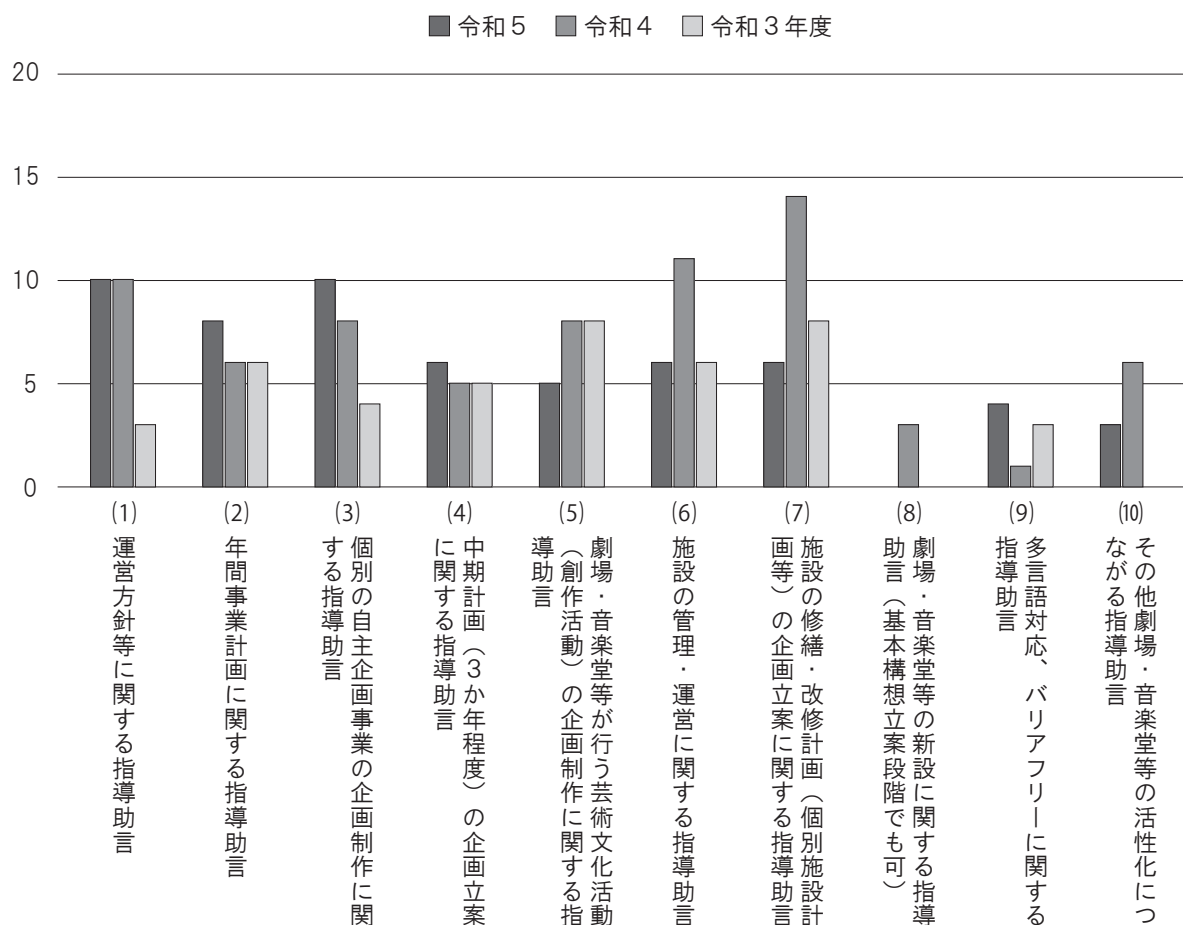
支援員派遣実績一覧

No.	都道府県	施設名	回数	支援員	(1) 運営方針	(2) 年間計画	(3) 自主企画	(4) 中期計画	(5) 芸術文化活動	(6) 管理・運営	(7) 修理・改修計画	(8) 新設	(9) 多言語対応等	(10) その他
1	北海道	帯広市民文化ホール	1	渡部 久美						○			○	
2	北海道	札幌市教育文化会館	2	矢作 勝義				○	○	○				
3	北海道	幕別町百年記念ホール (百年記念ホール)	2	水戸 雅彦		○								
4	岩手県	釜石市民ホール (TETTO)	3	伊藤 久幸							○			
5	宮城県	気仙沼市民会館	2	木全 義男		○								○
6	宮城県	多賀城市文化センター	1	坂元 勇仁			○							
7	福島県	白河文化交流館 (コミネス)	2	間瀬 勝一									○	
8	茨城県	茨城県立県民文化センター (ザ・ヒロサワ・シティ会館)	1	柴田 英杞	○									
9	栃木県	足利市民プラザ (あしかがフ ラワーパークプラザ)	2	水戸 雅彦	○									
10	栃木県	小山市立文化センター	1	神保 富美子	○	○	○							
11	栃木県	那須塩原市黒磯文化会館 (大正堂くろいそみるひい ホール)	1	神保 富美子						○				
12	埼玉県	上里町総合文化センター (ワーブ上里)	2	久保田 力		○	○	○						
13	千葉県	佐倉市民音楽ホール	2	渡辺 日佐夫										○
14	東京都	小平市民文化会館 (ルネこだいら)	2	谷 浩明			○							
15	東京都	調布市グリーンホール	1	柴田 英杞				○	○					
16	東京都	西新井文化ホール (ギャラクシティ)	2	南部 充央									○	
17	東京都	羽村市生涯学習センターゆと ろぎ(プリモホールゆとろぎ)	2	阿部 栄			○							
18	東京都	三鷹市芸術文化センター	3	近江 哲朗							○			
19	静岡県	三島市民文化会館 (ゆうゆうホール)	2	白神 久吉							○			
20	愛知県	犬山市民文化会館	3	本杉 省三							○			
21	愛知県	小牧市市民会館	1	中川 幾郎	○									

No.	都道府県	施設名	回数	支援員	(1) 運営方針	(2) 年間計画	(3) 自主企画	(4) 中期計画	(5) 芸術文化活動	(6) 管理・運営	(7) 修理・改修計画	(8) 新設	(9) 多言語対応等	(10) その他
22	滋賀県	大津市民会館	3	伊東 正示	○						○			
23	大阪府	八尾市文化会館 (プリズムホール)	1	栗田 正和					○					
24	兵庫県	西宮市民会館 (アミティ・ベイコムホール)	2	鈴木 京子			○						○	
25	和歌山県	橋本市産業文化会館 (アザレア)(橋本市サカイ キャニング産業文化会館)	1	山形 裕久	○	○		○		○				
26	鳥取県	倉吉未来中心	3	林 健次郎		○		○	○					
27	島根県	松江市総合文化センター (プラバホール)	1	竹内 淳	○									
28	島根県	松江市八雲林間劇場 (しいの実シアター)	1	中川 幾郎	○									
29	岡山県	真庭市久世エスパスセンター	2	津村 卓		○								
30	山口県	宇部市渡辺翁記念会館	2	太下 義之	○			○		○				
31	高知県	四万十市総合文化センター	2	大石 時雄										○
32	福岡県	大牟田文化会館	2	小松 淳子			○							
33	福岡県	久留米シティプラザ	2	林 健次郎		○	○							
34	福岡県	ミリカローデン那珂川 (ミリカ)	2	長野 隆人					○					
35	熊本県	荒尾総合文化センター	2	八巻 寿文	○		○							
36	熊本県	熊本県立劇場	2	草加 叔也						○				
37	熊本県	益城町文化会館	3	初山 勝人							○			

支援内容実績比較（3 年・申込時）

	(1) 運営方針等に関する指導助言	(2) 年間事業計画に関する指導助言	(3) 個別の自主企画事業の企画制作に関する指導助言	(4) 中期計画（3 年程度）の企画立案に関する指導助言	(5) 劇場・音楽堂等が行う芸術文化活動（創作活動）の企画制作に関する指導助言	(6) 施設の管理・運営に関する指導助言	(7) 施設の修繕・改修計画（個別施設計画等）の企画立案に関する指導助言	(8) 劇場・音楽堂等の新設に関する指導助言（基本構想立案段階でも可）	(9) 多言語対応、バリアフリーに関する指導助言	(10) その他劇場・音楽堂等の活性化につながる指導助言
令和 5 年度	10	8	10	6	5	6	6	0	4	3
令和 4 年度	10	6	8	5	8	11	14	3	1	6
令和 3 年度	3	6	4	5	8	6	8	0	3	0



支援の様子



支援先の課題に対して、支援員による講義（上）のほか、施設職員が主体性をもちながら、グループワーク（下）が行われるなど、さまざまな形式で支援実施がなされた。



日常相談業務対応

事業の目的

劇場・音楽堂等が抱える個別課題解決に加え、必要とされる情報やノウハウ提供等相談を通して行い、解決への道筋を見出していく手助けを行い、劇場・音楽堂等の活性化を多面的に支援する。

実施期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

相談の実施方法

- (1) 電話、FAX、郵便、電子メール等による相談
- (2) 面談による相談
- (3) オンラインによる相談

相談の内容

- (1) 施設の運営及び事業の企画・実施へのアドバイス
- (2) 公演企画・契約がよりスムーズに行えるような仲介及び支援
- (3) 芸術・文化に関する最新の情報の提供
- (4) 施設の改修・新築計画の立て方等へのアドバイス
- (5) その他、劇場・音楽堂等の活性化のために必要な事項

相談対応者

劇場・音楽堂等及び舞台芸術の専門家、研究者等

対応時間

原則 10時00分～17時00分

相談結果報告

主な相談事項をFAQ「よくある質問」としてまとめ、広く公開をする

実施内容

- 1 来所による相談 5件
- 2 電話、FAX、電子メールによる相談 49件

相談内容	管理運営	21件
	改修、新設	10件
	コロナ禍	1件
	公演企画	6件
	その他	16件

相談事例

1 施設の管理運営

○管理運営

- ・稼働率向上への取組について
- ・人材確保の取組事例について
- ・施設利用案内に関するマニュアル、個人情報保護の記載について
- ・燃料費等の高騰に対する対策事例について
- ・電気料金値上げに対する利用者支払額の変更の事例について
- ・舞台技術の委託事業者に求める委託職員の資格について
- ・マルチ商法事業者の施設利用に関する対応事例について
- ・熱中症対策としての公演鑑賞時のドリンクに関する事例について
- ・主催公演チケットの寄付金付与策について
- ・巡回公演等の物流 2024 年問題について
- ・指定管理者募集に際しての舞台技術人件費の相場算出について
- ・公演前の避難誘導アナウンスに必要な内容について
- ・事業を外部委託している直営施設の事例について
- ・貸館での整備不良発生時の利用料返金保証について
- ・公演鑑賞時の車椅子利用者の遅れ対応について
- ・運営マニュアルの整備について
- ・インボイス制度について（複数）
- ・レーザー機器使用の届け出について
- ・スプリンクラー事故の事例について
- ・「トラブル対応ハンドブック 2017」に記載されている内容の根拠法について

○改修新設

- ・改修や施設整備に対する国からの支援策について（複数）
- ・施設のバリアフリー化への補助金について
- ・車椅子席の設置基準について
- ・特定天井の改修における県内施設の実績について
- ・施設改修計画への助言について
- ・多目的ホール改修後の利用先（市民、興行先）の設定について

○コロナ禍関係

- ・政府のマスク着用等の緩和（自己判断）を受けてガイドライン改定の方向性について

2 公演企画

- ・主催公演出演者の自身による web 配信の際の注意事項について（複数）
- ・公演における演出上の喫煙の際の観客の受動喫煙について
- ・避難誘導コンサートの実施状況について
- ・公演団体と施設とのマッチングについて

3 その他

- ・能登半島地震に対する支援策の打診について
- ・ダンサーから自身へのハラスメントについて
- ・民間劇場において公演時間が予定より短くなったことに対する保証について
- ・「専門（的）人材」の定義について
- ・専門的人材の紹介
- ・講師の紹介（接遇、市民参加企画参加者に向けた心得・マナー、財団運営に関する助言、ハラスメント、劇場施設における働き方改革、文化政策、広報）
- ・指定管理者選定に関する委員の紹介

質問・回答の例

Q：公演における演出上の喫煙の際の観客の受動喫煙

主催する演劇公演において、出演者が演出上、喫煙をするシーンがあります。観客の受動喫煙への配慮はどのように考えればよいでしょうか。

A：施設規模（客席数）や空調機器の状況（気流の方向性）、喫煙する出演者の数や喫煙時間等、様々な状況が考えられますが、一般的に劇場施設は空間の気積が大きく、公演中は常時空調が行われています。

また、上演の際に喫煙する人数や時間は限定的と想定されます。舞台演出用の小道具である模擬タバコや電子タバコを用いる場合もあるでしょう。故に想定において、観客が受動喫煙で健康被害を受ける可能性は極めて低いと思われれます。

必要に応じて、広報時にチラシ等へ喫煙場面があることの断りを入れておくことで、来場者に事前に注意を促すことも考えられます。

Q：人材確保への取組事例

職員の採用募集を行っても年々応募者が減少してきています。採用募集について効果的に行われている他施設の取組事例を知りたい。

A：前提として、施設や運営者により雇用環境や待遇等が異なること、地域性なども応募の多寡に影響します。

国の指導等もあり全職種的に給与面を始めとした待遇改善が進められていますが、劇場施設は、指定管理において指定期間が限られているなど、待遇面等で不利な部分もあります。

しかしながら、採用において一般企業等に比べ出遅れている面も多々あり、たとえば募集告知の際に、団体のホームページや（一財）地域創造、ネットTAM、公文協ホームページなど、無料で利用できる方法のみで告知することが多く、一般企業のように民間の有料採用サイト等を利用することは少ないです。

そのようななかで、たとえば、横浜市芸術文化振興財団や新潟市芸術文化振興財団などでは、施設独自の採用専用サイトや施設サイトに専用ページを設け、施設や業務、職員の日常等の詳細を紹介することで、広く訴求するとともに応募者と業務のミスマッチを防ぐなどの取り組みをしています。

劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査

事業の目的

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年法律第49号）」施行以後の劇場・音楽堂等の取組や課題等を踏まえ、さらなる劇場、音楽堂等の機能強化に関する調査・分析を行い、今後の劇場、音楽堂等の振興に係る諸施策に資する。

事業実施期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(1) 劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査

調査期間：令和5年10月5日（木）～10月27日（金）（11月30日（木）まで延長）

調査対象：公立施設 151施設

個人 調査対象施設の正職員・フルタイムの職員（正職員以外）

回答数：施設 総回答数 141施設（回答率93.4%）

有効回答数 137施設

個人 総回答数 953人（137施設）

有効回答数 794人（135施設）

調査項目

i 全般

非正職員比率、年齢構成等について

ii 給与関連

給与、雇用形態による給与差等について

iii 労務条件・環境関連

就業時間、有給休暇、就業時間を減らすための取組、各種制度、人材育成等について

iv 子ども関連

有子率、子育てに関する意識・理解、育児休暇制度等について

v 離職関連

離職率、離職理由、採用募集時の広報等について

調査報告書

発行：令和6年3月

<https://www.zenkoubun.jp/publication/survey.html>

(2) 劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査

調査期間：令和5年10月18日（水）～11月15日（水）（23日（木）まで延長）

調査対象：国公立施設 2,134 施設

回答数：1,240 施設（回答率 58.1%）

調査項目

[ブロック1] 施設の基本情報

- ・施設名称、住所
- ・設置者について
- ・指定管理者制度の導入状況について
- ・ホールの席数
- ・運営方針の有無について

[ブロック2] 職員の状況

- ・職員について
- ・職員の採用について
- ・専門的人材の確保について

[ブロック3] 令和4年度の施設利用実績・収支

- ・施設利用実績について（令和4年度実績）
- ・施設運営費について（令和4年度決算ベース）
- ・補助金等の活用状況

[ブロック4] 令和4年度の事業実施状況

- ・主催文化事業（令和4年度実績）について
- ・人材養成事業（令和4年度実績）について
- ・普及啓発事業（令和4年度実績）について
- ・事業運営にあたっての課題
- ・貸館事業（令和4年度実績）について

[ブロック5] その他の活動等

- ・配慮を要する利用者への受入れ体制
- ・地域・社会貢献活動の実施について

調査報告書

発行：令和6年3月

<https://www.zenkoubun.jp/publication/survey.html>

Ⅲ 研修事業

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

事業の目的

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的として、アートマネジメントに関する研修を体系的に実施することにより、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。

対象

劇場・音楽堂等職員、地方自治体の文化芸術振興行政担当者、アートマネジメント教育関係者、学生、アートマネジメントに関心のある方、一般の方等

開催日

オンライン配信：令和6年2月1日（木）～3月17日（日）（24日（日）まで延長）

公開収録：令和5年10月31日（火）収録場所：東京都中小企業会館 ほか

ワークショップ1：令和6年2月14日（水）・2月15日（木）

ワークショップ2：令和6年2月20日（火）

募集期間

オンライン配信：令和6年2月1日（木）～3月17日（日）（24日（日）まで延長）

ワークショップ1：令和5年11月15日（水）～12月20日（水）

ワークショップ2：令和5年12月4日（月）～12月25日（月）

実施内容

企画委員：木全 義男（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー

柴田 英杞（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー

鈴木 順子（公財）東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 副館長

水戸 雅彦（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

企画会議（第1回）

開催日時：令和5年6月2日（金）10：00～12：00

開催場所：東京都中小企業会館 8階A会議室

議 題：1 令和4年度研修会実施状況について

2 令和5年度研修会の実施について

企画会議（第2回）

開催日時：令和5年7月7日（金）13：30～15：30

開催場所：東京都中小企業会館 8階A会議室

議 題：1 研修会の構成とプログラムの内容について

2 今後のスケジュールについて

3 その他

研修会

モデレーター：木全 義男（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー
柴田 英杞（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー
鈴木 順子（公財）東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 副館長
間瀬 勝一（公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー
水戸 雅彦（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター
矢作 勝義（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

オンライン配信申込者：1,417名

閲覧数延べ：4,959回

ワークショップ受講者：43名

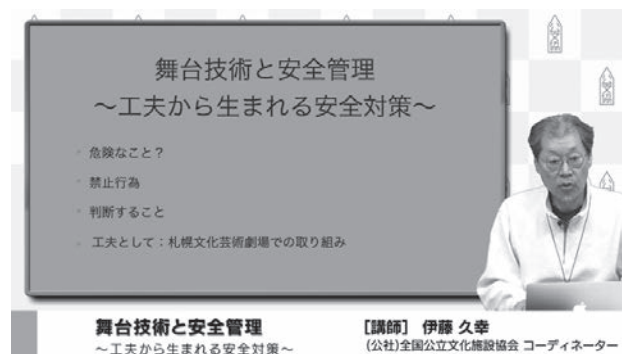
オンライン配信プログラム

【人材養成講座】

舞台技術と安全管理 ～工夫から生まれる安全対策～

講師：伊藤 久幸氏（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

技術スタッフだけでなく、すべての劇場・音楽堂等職員が考えていくべき舞台の安全管理についてお話しします。危険なこと、禁止行為、施設側で判断すべきことは？札幌文化芸術劇場 hitaru での安全対策の取り組みについてもご紹介します。



【人材養成講座】再配信

文化政策と劇場・音楽堂等（令和3年度プログラム）

講師：柴田 英杞氏（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー

劇場・音楽堂等の事業、危機管理とリスク対応（令和3年度プログラム）

講師：間瀬 勝一氏（公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー

自治体文化政策と劇場・音楽堂等（令和4年度プログラム）

講師：中川 幾郎氏（公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー

オンライン配信プログラム



近藤良平氏に聞く「埼玉回遊」と休館中の事業実施について

講師：近藤 良平氏 振付家・ダンサー、コンドルズ主宰、彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督
進行：大堀 久美子氏 編集者、ライター

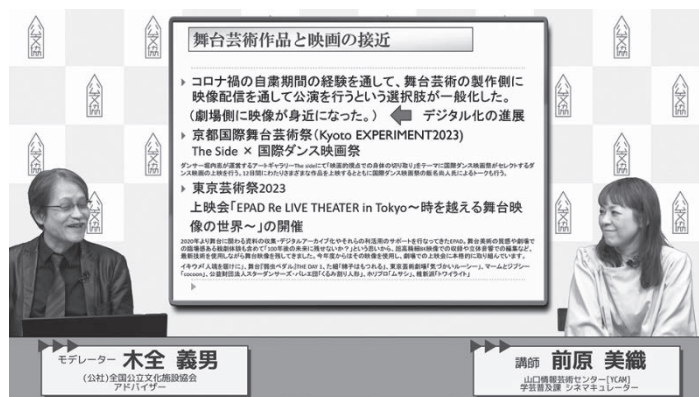
彩の国さいたま芸術劇場の大規模改修工事のための休館を機に始まったプロジェクト「埼玉回遊」。埼玉県各地を巡り、多彩な文化を探索する本プロジェクトを中心に、近藤良平氏の地域での活動と、劇場休館中の事業実施についてお話を伺います。



中小規模館でもできる「映画上映会」の可能性を考える

講師：前原 美織氏 山口情報芸術センター[YCAM]学芸普及課 シネマキュレーター
モデレーター：木全 義男氏 (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー

デジタルシネマとは、映画上映の機材は、など映画上映の基礎的なことを学び、予算の少ない中小規模館でも「こうすればできる」というノウハウやホールを上映に適した環境にする工夫、集客の工夫を考えます。併せて、YCAMの先進的な事例を通して公共劇場で映画上映を行う意義についても深掘りします。



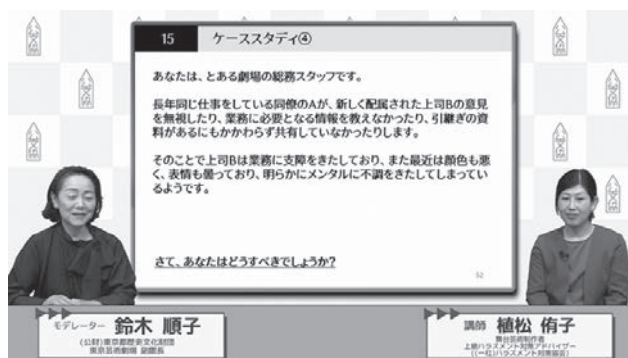
オンライン配信プログラム

劇場・音楽堂等におけるハラスメント ～予防のための基礎知識とケーススタディ～



講師：植松 侑子氏 舞台芸術制作者、
上級ハラスメント対策アドバイザー（(一社)ハラスメント対策協会）
モデレーター：鈴木 順子氏 （公財）東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 副館長

2022年4月1日より、パワハラ防止法に基づき、事業主は職場におけるパワーハラスメント防止のための措置を講じることが義務化されました。まずは「ハラスメントとは何か」「こういったことがハラスメントに当たるのか」という基礎知識を身につけ、劇場・音楽堂等で起こり得るケースについて考えます。



シリーズ「貸館を考える」～先進事例に学ぶ貸館事業について～

講師：生田 隆明氏 （公財）三重県文化振興事業団 三重県総合文化センター
施設利用サービスセンター 施設運営課 課長
モデレーター：間瀬 勝一氏 （公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー

各施設で行われている「施設提供事業」いわゆる貸館事業の活性化を期待するプログラム。ホール貸し出し時のオプションサービスを考え提供するなど、ホスピタリティの向上で利用者の満足度を上げる工夫をしている三重県総合文化センターの事例を紹介し、戦略的に貸館を考え利用率の向上を図るきっかけとする講座です。



オンライン配信プログラム



あなたの施設でできる、光熱費節約のヒント

講師：長谷川 祥久氏 (有) 香山建築研究所 代表取締役所長

南井 克夫氏 (株) 環境エンジニアリング 代表取締役

モデレーター：矢作 勝義氏 (公社) 全国公立文化施設協会 コーディネーター

各公立文化施設で喫緊の課題となっている光熱費の高騰。ご自身の施設で最もエネルギーを使用しているのは何か、どの季節にどれくらい使用しているか、把握していますか？大きな削減は難しくても、何らかの工夫で数パーセントでも節約できないか…光熱費節約の可能性を考えます。



オンライン配信プログラム

<公開フォーラム>

劇場を開く、市民と繋がる、地域を創造する。

～劇場のコーディネート機能を開拓する～



公開収録：令和5年10月31日（火）11:00～16:00

会場：東京都中小企業会館 講堂

鑑賞の場としてだけでなく、人が集まり交流、活動する場、そして地域の創造、再生、発展に寄与することを期待される劇場・音楽堂等。地域に根差し、市民やさまざまな団体と連携、協働し、「新しい広場」「世界への窓」として地域の文化拠点になるために何が必要なのか。さまざまなフィールドの最前線で活躍する3人の講師と共に、これから次の一步をどこに向けて踏み出したらいいのかを考えます。

・はじめに

モデレーター：水戸 雅彦氏（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

・プログラム（1）市民主体の活動が可能性の限界を超えていく

～みの～れで育まれた住民と行政の共創～

講師：中本 正樹氏 小美玉市生活文化課 四季文化館みの～れ 館長補佐・事業統括

・プログラム（2）釜ヶ崎芸術大学は誰もが表現者

～社会包摂の表現の場づくりから地域へ～

講師：上田 假奈代氏 詩人、NPO 法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）代表理事

・プログラム（3）生きるためのそうぞうする力 ～地域社会に新しい変容を促す～

講師：藤 浩志氏 美術家、秋田市文化創造館 館長、秋田公立美術大学 教授

・プログラム（4）クロストーク

講師・モデレーター全員



ワークショップ 1



次世代リーダー養成プログラム

講師兼モデレーター：柴田 英紀氏（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー
ファシリテーター：大久保 充代氏（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター
木全 義男氏（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー
間瀬 勝一氏（公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー
水戸 雅彦氏（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

開催日時：令和6年2月14日（水）13：00～19：00 /
15日（木）9：30～17：00

会 場：東京都中小企業会館 講堂

対象者：劇場・音楽堂等職員 経験5年～10年未満の若手中堅職員の方
受講人数：21名

「将来、どのような劇場職員を目指したいのか」「自身のキャリア形成をどのように考えるのか」若手中堅職員にとっては自身の人生設計に関わる重要なテーマです。本研修は、組織コミュニケーションという観点から、公立劇場におけるリーダーシップについて、望ましいリーダー像を議論し、将来自身がどのようなリーダーを目指すかを考えます。

また、真摯に自分と向き合うことで、自身のキャリア形成について考えるきっかけをつくります。

単にリーダーシップ力を向上させるのではなく、若手中堅リーダーとしての自覚を喚起し、今後の劇場運営の糧となるような気づきの場とすることを目的とします。

ファシリテーターには、現職の館長を始め、館長職を経験したベテラン劇場人材が参加者の思いを受け止め、適切な助言アドバイスを行います。



ワークショップ 2



「広報の考え方の基本」～ワークショップ

講師：阿南 一徳氏 東京藝術大学 演奏藝術センター 准教授

開催日時：令和6年2月20日（火）13：00～17：00

会場：東京都中小企業会館 講堂

対象者：劇場・音楽堂等に勤めている方で、現在、広報業務に携わっている方

受講人数：22名

はじめに「広報の考え方の基本」についてお話しし、一方的なノウハウの伝達ではなく、各自の事情に応じた広報戦略を立案できるようになることを目指すワークショップです。



研修会報告書

発行：令和6年3月

<https://www.zenkoubun.jp/training/art.html>

参加者アンケート（一部抜粋）

〈オンライン配信プログラム〉

- ・管理部門の職員は、舞台技術について学ぶ機会がなかなかないので、良い機会でした。
- ・豊富な実験や事例が見られて大変参考になりました。
- ・日本各地で「埼玉回遊」のような試みができたら、新しい時代が来るのではないかと思います。働いている会館が間もなく長期の工事休館に入るので、その時間を生かして「機会」をつくっていきたいと思います。
- ・小規模ホールでの爆音上映など、設備を工夫することでただの映画上映会にとどまらないその施設ならではの企画とする例を知れてよかったです。
- ・映画上映は意義があるのだと再確認でき、自信になりました。
- ・劇場におけるハラスメントの事例を具体的に示していただき、とても分かりやすかったです。厚労省のガイドラインなどでは、劇場でのケースに落とし込みにくいと感じていたので、対処の提示もあり意義深い講座だと感じました。
- ・貸館は、事業企画に比べると慣れれば誰でもできると思われがちだが、専門的な業務だと思っていたので、このような講座で取り上げられ、事業企画と同様に専門的な知識とスキルが必要だと認識されてきたのが感慨深かったです。
- ・省エネ関係の基本的なことをおさらいできました。高効率な機器についても具体的に知りたいと思いました。
- ・クロストークでの話が心に響きました。テーマとしては「ひらく」「日常」または中間部分の話がメインだったが、それができないと全部ダメということではなく、「とじる」と「非日常」の重要さにも触れていただけたことに安心しました。

〈ワークショップ〉

- ・自分が思い描いていたリーダー像を良い意味で壊すことができました。
- ・同じテーマで話していても、それぞれの土壌が違うことやアプローチ方法に差が出ていたのが興味深くもあり、それでも共通する意識があるということを知れてよかったです。
- ・ディスカッションの合間に、普段の業務の話や抱えている課題の相談・共有もでき、大変有意義な研修でした。
- ・自分のキャリア形成が不安で、駆け込み寺のような気持ちで参加しましたが、非常に実りのある研修となりました。
- ・わかりやすく広報の基本的なことを学べてよかったです。
- ・広報の考え方のポイント、発想の起点などのヒントがいただけました。
- ・グループワークで具体的な企画チラシ案を考えられたのがよかったです。
- ・ワークショップを通してさまざまな参加者の意見・考え方を聞くことができました。
- ・広報の考え方では、ネガティブな部分をポジティブに変換することをまず意識してやってみたいと思いました。

〈その他〉

- ・遠方の施設のために、オンライン配信は継続していただきたい。

全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

事業の目的

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的とした舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の獲得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。

対象

劇場・音楽堂等の舞台技術管理者及び舞台技術管理責任者または舞台技術担当職員、文化行政主管部局の舞台技術担当職員、劇場・音楽堂等関係者、その他舞台技術関係者、舞台技術に関心のある者等

開催日

令和5年9月27日（水）～28日（木）

会場

KAAT 神奈川芸術劇場（神奈川県横浜市中区山下町281）

募集期間

令和5年8月1日（火）～令和5年9月20日（水）

実施内容

企画委員：米森 健二氏（有）空間創造研究所 代表取締役
堀内 真人氏 KAAT 神奈川芸術劇場 副館長、劇場等演出空間運用基準協議会 会長
平井 徹氏 KAAT 神奈川芸術劇場 舞台技術課 プロダクションオフィス

研修会

参加者：161名

プログラム

【プログラム1】 改修の流れと改修時における舞台技術者の関わり

講師：米森 健二氏（有）空間創造研究所 代表取締役

【プログラム2】 客席空間におけるLEDダウンライトの課題および対応事例紹介

講師：役野 善道氏 パナソニック（株）エレクトリックワークス社

尾崎 美雪氏 東芝ライテック（株）

【プログラム3】 舞台照明のLED化に向けたシステム事例紹介と運用の課題と工夫

～施設管理と利用の立場から～

講師：榊原 正将氏（株）松村電機製作所

勝 正樹氏 丸茂電機（株）

島田 美希氏 (株) クリエイティブ・アート・スィンク

大石 真一郎氏 KAAT 神奈川芸術劇場 舞台技術課長

【プログラム4】安全な施設運営のために、施設技術管理者が考えなければいけないこと

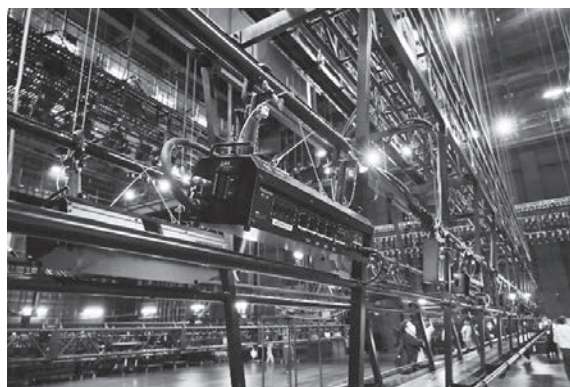
講師：堀内 真人氏 KAAT 神奈川芸術劇場 副館長、劇場等演出空間運用基準協議会 会長

【プログラム5】施設技術管理の立場から「高所作業」を考える

講師：新島 啓介氏 東京芸術劇場 舞台管理担当主任、

フルハーネス型墜落制止用器具取扱特別教育インストラクター

研修会の様子



研修会報告書

発行：令和6年3月

<https://www.zenkoubun.jp/training/technic.html>

参加者アンケート（一部抜粋）

- ・改修というテーマにおいて、舞台照明のLED化をどう考えていくかはとても重要な問題だと再認識させられました。
- ・これから、大規模改修までのスケジュールを整理していく所だったので、参考になりました。
- ・自ホールでもLED照明とハロゲン照明との付き合い方がこの先の課題になると話題になっており、第一線で関わっている方々の話がきけて良かったです。
- ・LED化に向けて改修の流れや機材の進化、現場での実際の声など、多角度の見方があり非常に参考になりました。
- ・安全管理については施設にもち帰って、チームミーティングを開き今後見直す事を提案したいと思いました。
- ・高所作業についての知識がまったくの0であったため、高所作業に対する心がまえや考え方、重要項など理解しやすくまとまっていたので、大変参考になりました。
- ・“改修”について包括的視点で講義頂き大きな学びとなりました。今回の講義-改修/LED化/安全管理/高所作業-すべて一連の観点から一貫したテーマが見えました。技術職員として姿勢を取り直してとり組みたいと思います。

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会

事業の目的

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的としたアートマネジメントや劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の取得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を図る。

①アートマネジメント研修会

各地域において、劇場・音楽堂等の優れた自主事業等を企画する能力、管理運営能力の養成を図るため、劇場・音楽堂等の職員等を対象とした研修会を実施する。

②舞台技術研修会

各地域において、劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識や技術の習得を図るため、舞台技術者を対象とした舞台技術研修会を実施する。

対象者

- ①劇場・音楽堂等に勤務する職員（指定管理者及び劇場・音楽堂等の管理・運営業務等を受託している企業等からの派遣職員も含む）
- ②地方自治体の文化芸術行政担当職員及び劇場・音楽堂等施設関係者
- ③民間の舞台技術関係者、大学等の高等教育機関・舞台技術やアートマネジメントの教育関係者・学生等、また関心のある市民等。

実施日数

原則1日以上

実施一覧

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

地域名	開催日	会場	参加者数
北海道※	令和5年11月8日(水)～9日(木)	北海道立道民活動センター (かでの2・7)	33名 22施設
東北	令和5年11月21日(火)～22日(水)	釜石市民ホール TETTO	32名 22施設
関東甲信越静	令和6年3月6日(水)	国立劇場	-名 -施設
東海北陸	令和5年10月5日(木)～6日(金)	福井県立音楽堂 「ハーモニーホールふくい」	74名 37施設
近畿※	令和5年12月14日(木)～15日(金)	兵庫県立芸術文化センター	128名 60施設
中四国	令和5年12月7日(木)～8日(金)	愛媛県県民文化会館	60名 35施設
九州	令和5年9月28日(木)～29日(金)	宝山ホール (鹿児島県文化センター)	56名 32施設

地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

地域名	開催日	会場	参加者数
北海道※	令和5年11月8日(水)～9日(木)	北海道立道民活動センター (かでの2・7)	-名 -施設
東北	令和6年3月12日(火)	オンライン配信 (新庄市民文化会館)	46名 26施設
関東甲信越静	令和6年2月19日(月)	静岡県コンベンションアーツセン ター グランシップ	83名 31施設
東海北陸	令和6年1月24日(水)～25日(木)	不二羽島文化センター	-名 -施設
近畿※	令和5年12月14日(木)～15日(金)	兵庫県立芸術文化センター	-名 -施設
中四国	令和6年1月18日(木)～19日(金)	香川県県民ホール	39名 25施設
九州	令和5年12月12日(火)～13日(水)	宝山ホール (鹿児島県文化センター)	39名 19施設

※アートマネジメント・舞台技術合同研修会

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会 北海道

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会（北海道地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、アートマネジメント及び舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより、地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。劇場・音楽堂等の職員を対象として、施設の管理運営を行う上で直面している課題について専門的な研修を行うことにより、地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和5年11月8日（水）～11月9日（木）
会場	北海道立道民活動センター（かでの2・7）
問合せ先 (事務局担当施設)	北海道立道民活動センター（かでの2・7）
参加人数	33名（参加施設22施設）

研修内容

	日時	内容	講師等
11/8 (水)	9:30～9:50	受付	
	9:50～10:00	開講式	
	10:00～12:00	講義Ⅰ 舞台上の安全管理について	札幌市民交流プラザ 舞台技術アドバイザー 伊藤 久幸氏
	12:00～13:00	休憩	
	13:00～17:00	講義Ⅱ 劇場備品と設備について 基礎編 ・劇場備品の管理・取扱いについて ・手動バトンの取扱いについて	伊藤 久幸氏 三精テクノロジーズ（株） 舞台機構事業本部 営業部次長 諸岡 聡昭氏 （株）井手口 取締役舞台美術部部长 小栗 直人氏
11/9 (木)	9:30～10:00	受付	
	10:00～12:00	講義Ⅲ 著作権について	（一社）日本音楽著作権協会 北海道支部 支部長 梶原 健司氏
	12:00～13:00	休憩	
	13:00～15:00	講義Ⅳ これを聴けばわかる！ 中小規模館における若手の人材戦略 ～みんなが元気になるための秘策～北海道 ver.	あさひサンライズホール 館長兼芸術監督 漢 幸雄氏 中標津町総合文化会館 館長 金曾 義仁氏
	15:00～15:30	質疑応答	
	15:30～15:40	閉講式	

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 東北

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（東北地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、アートマネジメントに関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和5年11月21日（火）～11月22日（水）
会場	釜石市民ホール TETTO
問合せ先 (事務局担当施設)	岩手県民会館
参加人数	32名（参加施設22施設）

研修内容

	日時	内容	講師等
11/21 (火)	13:30～13:35	開講式	
	13:35～14:45	講義Ⅰ 「岩手が誇る郷土芸能とその伝承について」	(公社)全日本郷土芸能協会 常務理事 小岩 秀太郎氏
	14:45～15:00	休憩	
	15:00～15:20	釜石虎舞について～ 釜石虎舞団体有志による演舞	釜石虎舞保存連合会 有志
	15:25～16:25	ワークショップ グループに分かれて虎舞を体験、過去の映像を上映	解説：小岩 秀太郎氏 釜石虎舞保存連合会 有志 釜石市民ホール 中村 仁彦氏
	16:30～17:15	施設見学	釜石市民ホール スタッフ
11/22 (木)	9:30～10:15	講義Ⅱ 「釜石市内郷土芸能団体の現状について」	講師：釜石市文化スポーツ部文化振興課 文化財係長 手塚 新太氏 司会：小岩 秀太郎氏
	10:20～11:20	「郷土芸能伝承のこれから」についてグループディスカッション	5班に分かれての討議 ファシリテーター： 小岩 秀太郎氏
	11:20～11:50	発表⇒講師による講評⇒質疑応答	
	11:50～11:55	閉講式	

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 関東甲信越静

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（関東甲信越静地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、アートマネジメントに関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和6年3月6日（水）
会場	国立劇場
問合せ先 (事務局担当施設)	国立劇場
参加人数	—

研修内容

	日時	内容	講師等
3/6 (水)	12:30～13:00	受付	
	13:00～13:10	開講式	
	13:10～13:50	講義Ⅰ 伝統芸能を題材としたWSを行っている ホールの事例報告 「千葉県文化振興財団の伝統芸能の取り組みについて」	千葉県文化会館 糸日谷 智孝氏
	13:50～14:05	休憩	
	14:05～14:55	講義Ⅱ 地元に伝わる伝統芸能を振興する事例報告 「「かながわ伝統文化こども歳時記」の取り組みについて」	神奈川県立青少年センター 藤岡 審也氏
	14:55～15:10	休憩	
	15:10～15:55	質疑応答・総括	コメンテーター：小野木 豊昭氏
	15:55～16:00	閉講式	

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 東海北陸

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（東海北陸地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的としたアートマネジメントや劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管するために必要な専門的知識・技術の取得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を図る。 アートマネジメント研修会については、各地域において、劇場・音楽堂等の優れた自主事業等を企画する能力、管理運営能力の養成を図るため、劇場・音楽堂等の職員等を対象とした研修会を実施する。
開催期間	令和5年10月5日（木）～10月6日（金）
会場	福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」
問合せ先 (事務局担当施設)	愛知県芸術劇場
参加人数	74名（参加施設37施設）

研修内容

日時	内容	講師等	
10/5 (木)	13:00～13:30	受付	
	13:30～13:45	開講式	
	13:45～15:00	研修会Ⅰ インボイス制度に関する講演会	金沢国税局 課税部 消費税課 軽減税率・インボイス制度係長 古川 祐規氏
	15:00～15:15	休憩	
	15:15～16:30	研修会Ⅱ 顧客層に届く広報とは？	愛知県芸術劇場 広報・マーケティング部 部長 林 健次郎氏
	16:30～16:45	休憩	
	16:45～17:45	研修会Ⅲ 芸術公演&登録アーティストとのディスカッション	プレゼンター： (公財)福井県文化振興事業団 事業部 副部長 佐々木 玲子氏 パイプオルガン演奏： 長谷川 佳子氏 越のルビーアーティスト演奏会 ソプラノ：白根 奈々氏 マリンバ：Pulse Du 平岡 愛子氏 山崎 智里氏

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会 近畿

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会（近畿地域）
趣旨	近畿地域の公立文化施設の職員等を対象として、アートマネジメント能力と技術能力の向上に関する専門的な研修を行い、地域の文化芸術の振興と公立文化施設の活性化に資する
開催期間	令和5年12月14日（木）～15日（金）
会場	兵庫県立芸術文化センター
問合せ先 (事務局担当施設)	DMG MORI やまと郡山城ホール 兵庫県立芸術文化センター
参加人数	128名（参加施設60施設）

研修内容

日時	内容	講師等	
12/15 (金)	10:00～12:00	講義4【研修会】 クレーム対応研修 「賢者は経験に学ぶ、百聞は一験にしかず」	宇治市文化会館 館長 近畿支部 専門委員 橋本 恭一氏
	12:00～13:00	休憩	
	13:00～14:00	講義5【講演】 芸術文化によるひとづくり、まちづくり ～芸術文化観光専門職大学の挑戦～	芸術文化観光専門職大学 学長 平田 オリザ氏
	14:00～14:15	休憩	
	14:15～15:30	講義6【パネルディスカッション】 公立文化施設の人材育成 ～大学と公立ホールの連携がもたらすこと～	パネリスト： 芸術文化観光専門職大学 学長 平田 オリザ氏 東りいたみホール 館長 権田 康行氏 神戸市民文化振興財団 演奏担当 部長 森岡 めぐみ氏 コーディネーター： 芸術文化観光専門職大学 副学長 藤野 一夫氏

※14日（木）は支部研修と合同のため省略

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 中四国

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（中四国地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、アートマネジメントを行う上で直面している課題について研修を行うことにより、地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和5年12月7日（木）～12月8日（金）
会場	愛媛県県民文化会館
問合せ先 (事務局担当施設)	(公財)愛媛県文化振興財団
参加人数	60名（参加施設35施設）

研修内容

日時	内容	講師等
12/7 (木)	講義1 「ファシリテーターの仕事と問題解決の糸口をテーマに」	ブランディング特化型ファシリテーター 岩下 紗矢香氏
	講義2 「問題解決に必要なプロセスを探る」	ブランディング特化型ファシリテーター 岩下 紗矢香氏 ショートショート作家 田丸 雅智氏 (株)日昇PR 事業部マネージャー 垣内 幸子氏
12/8 (金)	講義3 「ショートショート発想法」	田丸 雅智氏

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 九州

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（九州地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、アートマネジメントに関する専門的な研修を行うことにより、地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和5年9月28日（木）～9月29日（金）
会場	宝山ホール（鹿児島県文化センター）
問合せ先 （事務局担当施設）	宮崎県立芸術劇場
参加人数	56名（参加施設32施設1団体）

研修内容

日時	内容	講師等
9/28 （木）	講演 「連携共同体の形成から考える公立文化施設の公共性」	芸術文化観光専門職大学 副学長 教授 藤野 一夫氏
	事例発表Ⅰ 「地域への想いを受け継ぐ仲間が、時代を作る」	C-WAVE ネットワーク協議会 会長 福井 宏征氏 事務局長 櫻川 勝志氏
	事例発表Ⅱ 「文化芸術に係る地域住民参画型モデル事業」	広島県環境県民局 文化芸術課 主査 柴木 悠丞氏 はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ 副館長 重村 幸雄氏
9/29 （金）	事例発表Ⅲ 「文化・芸術の力で人も地域ももっと好きになるー福島県いわき市 igoku の事例を通じてー」	いわき市保健福祉部地域医療課 事業推進員 猪狩 僚氏
	パネルディスカッション 「これからの『連携』を考える～つながることから生まれる新しい文化～」	藤野 一夫氏 福井 宏征氏 櫻川 勝志氏 柴木 悠丞氏 重村 幸雄氏 猪狩 僚氏

地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 東北

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（東北地域）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和6年3月12日（火）
会場	オンライン配信（新庄市民文化会館）
問合せ先 （事務局担当施設）	あきた芸術劇場ミルハス 新庄市民文化会館
参加人数	46名（参加施設26施設）

研修内容

	日時	内容	講師等
3/12 （火）	13:30	開会	
	13:30	技術部会長挨拶	あきた芸術劇場ミルハス 館長 進藤 裕人氏
	13:31～16:00	講義 神奈川芸術文化財団の取り組み 1. 鑑賞サービスとは 2. 字幕サービス 3. 音声補聴サービス 4. 音声ガイドサービス （休憩） 5. 鼎談「舞台技術者が鑑賞サービスを考える」	（公財）神奈川芸術文化財団 KAAT 神奈川芸術劇場 副館長 堀内 真人氏 舞台技術課 平井 徹氏 （一社）日本障害者舞台芸術協働 機構 代表理事 南部 充央氏

地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 関東甲信越静

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（関東甲信越静）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和6年2月19日（月）
会場	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
問合せ先 (事務局担当施設)	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
参加人数	83名（参加施設 31 施設）

研修内容

日時	内容	講師等
2/19 (月)	13:10～13:55 【パネルディスカッション】 音響反射板の効果的な利用について	パネリスト： レコーディングディレクター / 大阪芸術大学 客員教授 坂元 勇仁氏 ヴァイオリニスト / (一社) アン サンプル・ノマド マネージャー 花田 和加子氏 静岡県コンベンションアーツセ ンター グランシップ 元ホールマ ネージャー / (株) ステージルー プ 押田 章氏
	14:15～15:45 実演検証 ～二重唱を例に～	坂元 勇仁氏 花田 和加子氏 押田 章氏 実演奏者 ・佐藤 愛也氏 (ソプラノ) ・梅原 光洋氏 (テノール) ・小澤 実々子氏 (ピアノ)

地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 東海北陸

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（東海北陸地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的としたアートマネジメントや劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の取得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を図る。 舞台技術研修会については、各地域において、劇場・音楽堂等を管理している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより、地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和6年1月24日（水）～1月25日（木）
会場	不二羽島文化センター
問合せ先 (事務局担当施設)	愛知県芸術劇場
参加人数	—

研修内容

日時		内容	講師等
1/24 (水)	13:00～13:20	受付	
	13:20～13:30	開講式	
	13:30～15:00	研修会Ⅰ 基調講演「エンターテインメント・アート＋テクノロジー」	(一社)アート東京 代表理事 來住 尚彦氏
1/25 (木)	9:30～9:50	受付	
	9:50～10:50	研修会Ⅲ 実技Ⅰ「1. ドローンを知る」「2. 電波機器としてのドローンの使用上の注意」	(一社)アート東京 代表理事 來住 尚彦氏 Be-U(株) 代表取締役 高橋 賢太氏 Be-U(株) サウンドエンジニア 澤口 敬一氏
	10:50～11:05	休憩	
	11:05～13:15	研修会Ⅳ 実技Ⅱ「3. ドローンの飛行・撮影の実施」	來住 尚彦氏 高橋 賢太氏 澤口 敬一氏
	13:15～13:30	閉講式	

地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 中四国

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（中四国地域）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和6年1月18日（木）～1月19日（金）
会場	香川県県民ホール
問合せ先 （事務局担当施設）	香川県県民ホール
参加人数	39名（参加施設25施設）

研修内容

	日時	内容	講師等
1/18 （木）	14:00～14:10	開講式	
	14:10～15:40	講義Ⅰ 「音響・映像・映像配信・照明・安全管理」 ①	ファシリテーター： （株）四国舞台テレビ照明 久川 俊英氏 講師： （株）ヤマハミュージックジャパン 三星 龍生氏 ヤマハサウンドシステム（株） 兼子 伸一郎氏 松村電機製作所（株） 赤瀬 浩尚氏
	15:40～16:00	休 憩	
	16:00～17:00	講義Ⅱ 「音響・映像・映像配信・照明・安全管理」 ②	ファシリテーター： 久川 俊英氏 講師： 三星 龍生氏 兼子 伸一郎氏 赤瀬 浩尚氏
	17:00～17:30	大ホール見学	
1/19 （金）	10:00～11:30	講義Ⅲ 「大規模改修」	ファシリテーター： 久川 俊英氏 講師： （株）シアターワークショップ 伊東 正示氏
	11:30	閉講式	

地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 九州

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（九州地域）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的知識・技術の取得に係る研修を行うことにより、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和5年12月12日（火）～12月13日（水）
会場	宝山ホール（鹿児島県文化センター）
問合せ先 （事務局担当施設）	宝山ホール（鹿児島県文化センター）
参加人数	39名（参加施設19施設）

研修内容

日時		内容	講師等
12/12 （火）	13:05～13:15	開講式	
	13:15～14:00	プログラムⅠ ヤマハ推奨のピアノ管理（メンテナンス） についての解説	（株）ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部 ピアノ 技術サービス課 鈴木 義武氏 高橋 慎太郎氏 （株）十字屋 田代 昭浩氏
	14:15～15:00	プログラムⅡ 実際のピアノを使用し、ステージ上に集 まって運搬や手入れ、付随した多少のピア ノの構造・調律などの解説	
	15:50～16:50	プログラムⅢ 質疑応答	
12/13 （水）	9:45～11:45	プログラムⅣ 「劇場・音楽堂における改修計画について」 ～持続可能なホールの管理計画～	
	11:45～12:00	閉講式	

IV 参考資料

基盤整備事業一覧

支援員の派遣による支援 募集要項

「劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査」調査票

「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査」調査票

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 募集資料

全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 募集要項

令和 5 年度 文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

事業			概要	
I 情報提供事業	(1) 芸術文化情報提供事業	①劇場、音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集提供	(a) 資料等の収集・提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇場・音楽堂等や文化芸術に関する情報、資料を収集し、これまでに蓄積した情報とともに体系的に整理して、わかりやすい内容や方法で希望者に提供する ・ ホームページでの情報提供 ・ メールマガジンの発行
			(b) 専門人材（コーディネーター）の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各分野の専門人材に登録を依頼し、ホームページに公開（継続登録の人材についても、情報内容の更新を行う）
		②劇場、音楽堂等への芸術文化活動支援	(a) 支援員の派遣による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業の企画・実施、施設の管理・運営等に関する指導助言を行う専門家を派遣 ・ 派遣方法：館派遣型 ・ 派遣回数：1 団体 3 回まで
			(b) 日常相談業務対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話、メール、FAX 等による相談受付 ・ 来所による相談受付 ・ 主な相談内容を「よくある質問」としてホームページに掲載
	(2) 劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成 24 年法律第 49 号）」施行以降の劇場・音楽堂等の取組や課題等を踏まえ、さらなる劇場、音楽堂等の機能強化に関する調査・分析を行い、今後の劇場、音楽堂等の振興に係る諸施策に資する。 	

事業		概要
Ⅱ 研修・交流事業	①全国アートマネジメント研修会	・アートマネジメントと舞台技術に関する専門的研修を体系的に実施することにより、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援
	②全国舞台技術研修会	・劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的とした舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の獲得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。
	①地域別アートマネジメント研修会	・劇場・音楽堂等の企画力、創造力、運営能力、技術の強化や、職員の自発的な研鑽と自己啓発を促すため、若手職員等を対象とした研修会を行う。また、地域職員の交流を深め、相互のネットワーク形成及び情報交換の場とする
	②地域別舞台技術研修会	

実施状況	委員等
<ul style="list-style-type: none"> ・企画会議：第1回 R5.6.2 第2回 R5.7.7 ・開催期間 オンライン配信：R6.2.1～3.17（3.24まで延長） ワークショップ：R6.2.14～2.15、2.20 ・収録：R5.10.31（東京都中小企業会館） R5.11.17、11.20、11.28、12.6、12.18（品川動画配信スタジオ） ・プログラム数：12 オンライン配信プログラム：10プログラム ワークショッププログラム：2プログラム ・視聴申込者数：1,417名 ・視聴回数（延べ）：4,959回 ・ワークショップ参加者：43名 	<p>企画委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木全義男（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー） ・柴田英杞（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー） ・鈴木順子（（公財）東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 副館長） ・水戸雅彦（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター） <p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木全義男（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー） ・柴田英杞（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー） ・鈴木順子（（公財）東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 副館長） ・間瀬勝一（（公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー） ・水戸雅彦（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター） ・矢作勝義（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）
<ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：R5.9.27～28 ・会場：KATT 神奈川芸術劇場 ・プログラム プログラム1：改修の流れと改修時における舞台技術者の関わり プログラム2：客席空間におけるLEDダウンライトの課題および対応事例紹介 プログラム3：舞台照明のLED化に向けたシステム事例紹介と運用の課題と工夫 プログラム4：安全な施設運営のために、施設技術管理者が考えなければいけないこと プログラム5：施設技術管理の立場から「高所作業」を考える ・参加者数：161名 	<p>企画委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米森健二（（有）空間創造研究所 代表取締役） ・堀内真人（KAAT 神奈川芸術劇場 副館長、劇場等演出空間運用基準協議会 会長） ・平井徹（KAAT 神奈川芸術劇場 舞台技術課 プロダクションオフィス）
<ul style="list-style-type: none"> ・全国7地域で開催 ・開催期間：R5.9～R6.3 ・実施地域・日程・会場・参加者数 北海道：R5.11.8～9 北海道立道民活動センター（かでの2・7）33名 東北：R5.11.21～22 釜石市民ホール TETTO 32名 関東甲信越静岡：R6.3.6 国立劇場 - 名 東海北陸：R5.10.5～6 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」74名 近畿：R5.12.14～15 兵庫県立芸術文化センター 128名 中四国：R5.12.7～8 愛媛県県民文化会館 60名 九州：R5.9.28～29 宝山ホール（鹿児島県文化センター）56名 	
<ul style="list-style-type: none"> ・全国7地域で開催 ・開催期間：R5.11～R6.3 ・実施地域・日程・会場・参加者数 北海道：R5.11.8～9 北海道立道民活動センター（かでの2・7）33名 ※アートマネジメント研修会と合同開催 東北：R6.3.12 オンライン開催（新庄市民文化会館）46名 関東甲信越静岡：R6.2.19 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 83名 東海北陸：R6.1.24～25 不二羽島文化センター - 名 近畿：R5.12.14～15 兵庫県立芸術文化センター 128名 ※アートマネジメント研修会と合同開催 中四国：R6.1.18～19 香川県県民ホール 39名 九州：R5.12.12～13 宝山ホール（鹿児島県文化センター）39名 	



令和 5 年度文化庁委託事業

「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣による支援」

募集要項

1 主催

文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会

2 目的

劇場・音楽堂等において、実演芸術に関する活動や、劇場・音楽堂等の事業が自主的・主体的に行われるよう、自主事業の企画・実施、施設の管理・運営等に関する指導助言を行う専門家（以下、「支援員等」という）を派遣し、施設個別の課題に対して助言を行うことで、企画・運営力等の向上を図ることを目的とする。

3 支援内容

- ・支援内容（テーマ）は、下記「支援員等の業務」（1）～（10）に該当するものとなります。具体的内容は申込書（様式 2）をご覧ください。
- ・申込者毎に各施設等の課題に対応し優先度の高い支援内容（テーマ）の項目を原則として 1 つに絞ってお申込みください。申込書（様式 1）に記載いただいた支援内容（テーマ）を審査会で検討し決定いたしますので、様式 1（1）～（3）の設問に具体的に記入をしてください。

- (1) 運営方針等に関する指導助言
- (2) 年間事業計画に関する指導助言
- (3) 個別の自主企画事業の企画制作に関する指導助言
- (4) 中期計画（3 か年程度）の企画立案に関する指導助言
- (5) 劇場・音楽堂等が行う芸術文化活動（創作活動）の企画制作に関する指導助言
- (6) 施設の管理・運営に関する指導助言
- (7) 施設の修繕・改修計画（個別施設計画等）の企画立案に関する指導助言
- (8) 劇場・音楽堂等の新設に関する指導助言(基本構想立案段階でも可)
- (9) 多言語対応、バリアフリーに関する指導助言
- (10) その他劇場・音楽堂等の活性化につながる指導助言

4 派遣する支援員等

- ・劇場・音楽堂等の活動の活性化に資する文化政策、舞台芸術、管理運営、事業企画、舞台技術、施設改修等の分野に関する有識者又は専門家を派遣します。
- ・原則として、申込者毎に 1 名の派遣とします。様式 1「希望支援員氏名」欄には 1 名のみ記載してください。審査会で支援内容により複数の支援員の派遣が望ましいと判断された場合は、複数の支援員を派遣いたします。
- ・同じ支援員は、同じ施設等に連続して 2 年まで派遣が可能です。
令和 3 年度、令和 4 年度に連続して派遣した支援員は今年度派遣ができません。

5 派遣対象

1 施設単位を対象に派遣をします。

※今年度「地域派遣型」は実施致しません。

6 派遣回数、時間

年間最大3回までとし、1回の支援時間は概ね4時間程度とします。

7 実施規模

延70回程度

8 実施期間

令和5年6月1日（木）～令和6年1月15日（月）

9 申込者

施設等の設置者、運営者（指定管理者等）

※ 令和2年度から令和4年度まで3年連続し当事業で支援員の派遣を行った施設等（申込団体が設置者、管理者の双方を含む）は今年度の支援の対象となりません。

10 申込期間

令和5年4月17日（月）～令和5年5月5日（金）

11 申込方法

(1) 申込書（様式1、2）を全国公文協ホームページよりダウンロードしてください。

(2) 申込書（様式1、2）に内容を記入し、メール（pdfファイル）でお送りください。

メールで申込みができない場合は、4ページ記載の申込先・問合せ先までご連絡ください。






※ 申込後、担当者より希望内容について確認のご連絡をする場合があります。

12 審査会

・学識経験者等による審査会を開催し派遣先、支援内容、実施回数等を決定します。

・審査会での審査により、ご希望頂いた回数の派遣や派遣そのものがない場合があります。

13 申込から実施までの流れ

- ・ 申込期間 令和 5 年 4 月 17 日（月）～令和 5 年 5 月 5 日（金）
 ※ホームページより申込書（様式 1、2）をダウンロードし、メール(pdf ファイル)でお送りください。
- ・ 審査会 令和 5 年 5 月中旬（予定）
 ※申込者の出席は不要です
- ・ 審査結果通知 令和 5 年 5 月下旬（予定）
 ※郵送又はメールにより、支援員名、実施回数、実施内容等を通知します。
- ・ 支援員等との日程 決定通知が届き次第、支援員等に連絡の上、日程、支援内容の調整、打合せ等 詳細等を調整してください。
 ※原則申込者が支援員等へ直接連絡し、日程等調整をして頂きます。
- ・ 事業計画書提出 事業実施 1 か月前を目途にご提出ください。
 (pdf ファイル)
- ・ 支援事業実施 令和 5 年 6 月 1 日（木）～令和 6 年 1 月 15 日（月）
 - ①支援実施届提出 ・各支援実施 2 週間前迄に、ご提出ください。(pdf ファイル)
 - ②報告書提出 ・支援員事業終了後 2 週間以内に、ご提出ください。

14 支援員の希望について

- (1) 支援員の派遣希望がある場合
 - ・ 特定の支援員等を希望する場合は、申込書に氏名をご記入ください。(連絡済であっても、調整により必ずしも派遣できるわけではありません。ご了承ください)
- (2) 特定の支援員等の派遣希望がない場合
 - ・ 公文協ホームページ内「専門人材情報」をご活用ください(ただし、選んでいただいた方を、必ずしも派遣できるわけではありません。ご了承ください)。専門人材情報 <https://www.zenkoubun.jp/jinzai/index.html>
 - ・ 特定の支援員のご希望がない場合は、申込書、希望支援員氏名欄に「マッチング希望」と記入してください。審査会にて希望分野の支援員を申込者に提案します。

15 支援の対象とならない事例

- (1) 施設等の従事者ではなく、一般向けに行う研修・講演・シンポジウム・ワークショップの講師を依頼すること。
- (2) 公演の練習等で実技指導に従事させること。
- (3) 既に実施又は決定している施設等の事業への従事者・アドバイザー・実行委員会委員等に支援員等を充てること。
- (4) 施設等の自主企画事業・公演等の企画運営に関わる製作関係者等を支援員に希望すること。
- (5) 令和 2 年度から令和 4 年度まで 3 年連続し当事業で支援員の派遣を行った施設等(申込団体が設置者、管理者の双方を含む)。

16 新型コロナウイルスの感染症に伴う実施の方法について

新型コロナウイルスの感染状況により、支援員の派遣が決定回数通りに実施できない可能性がある場合、実施方法（例 オンラインによる実施、等）は、申込者と事務局で協議の上決定します。

17 謝金等

謝金及び旅費については、全国公文協が規程により直接支援員等に対し支払います。原則、申込者の立替等はありません。

ただし、規定以外の現地交通費、連絡費その他の経費が必要になった場合は、申込者に負担していただきます。

18 申込先・問合せ先

◇一部職員の在宅勤務等を実施しておりますため、可能な限りメールでのご連絡を頂けますよう、ご協力をお願い致します。

公益社団法人全国公立文化施設協会

〒104-0061 東京都中央区銀座 2-10-18 東京都中小企業会館 4 階

電話 03-5565-3030 FAX 03-5565-3050

E-MAIL culture@zenkoubun.jp

担当：岸・菅生・嘉山

劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査
①施設向けアンケート 事前記入シート

NO	調査項目	設問	回答条件	回答方式	選択肢 ※緑色でハイライトされた部分は選択・記載いただく部分を示します。
1	施設名	あなたの施設名を記載してください。 ※「愛称」ではなく正式名称を記載してください。	全員	記述	
2	設置者の種別	あなたの施設の設置者を選択してください。 【用語の定義】 中核市とは以下の市をさします。 浜北市、旭川市、青森市、八戸市、盛岡市、秋田市、山形市、福島市、郡山市、いわき市、水戸市、宇都宮市、前橋市、高崎市、川越市、川口市、越谷市、船橋市、柏市、八王子市、横浜須賀野市、富士市、金沢市、福井市、甲府市、長野市、松本市、岐阜市、豊橋市、岡崎市、一宮市、豊田市、大津市、豊中市、吹田市、高槻市、枚方市、八尾市、寝屋川市、東大阪市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、奈良市、和歌山市、鳥取市、松江市、倉敷市、呉市、福山市、下関市、高松市、松山市、高知市、久留米市、長崎市、佐世保市、大分市、宮崎市、鹿児島市、那覇市	全員	単一	<input type="checkbox"/> 1 都道府県 <input type="checkbox"/> 2 政令指定都市 <input type="checkbox"/> 3 中核市 <input type="checkbox"/> 4 その他市 → 選択されると回答終了となります。 <input type="checkbox"/> 5 特別区（東京都区部） <input type="checkbox"/> 6 町・村 → 選択されると回答終了となります。 <input type="checkbox"/> 7 その他 → 選択されると回答終了となります。
3	設置者名①	あなたの施設の設置者となっている都道府県を選択してください。	Q2で1を選択	単一	
4	設置者名②	あなたの施設の設置者となっている政令指定都市を選択してください。	Q2で2を選択	単一	
5	設置者名③	あなたの施設の設置者となっている中核市を選択してください。	Q2で3を選択	単一	
6	設置者名④	あなたの施設の設置者となっている特別区（東京都区部）を選択してください。	Q2で5を選択	単一	
7	管理運営形態	あなたの施設の管理運営形態を選択してください。	Q2で1～3・5を選択	単一	<input type="checkbox"/> 1 指定管理者による運営 <input type="checkbox"/> 2 設置者による運営 → 選択されると回答終了となります。
8	指定管理者の名称	では、指定管理者の団体名を記載してください。 ※公益財団法人、株式会社など法人形態を含めた正式名称を記載してください。	Q7で1を選択	記述	
9	指定管理者の法人形態	あなたの施設の指定管理者の法人形態を選択してください。	Q7で1を選択	単一	<input type="checkbox"/> 1 地方自治体为主体となり設立された財団法人・社団法人 <input type="checkbox"/> 2 個人・民間企業が主体となり設立された財団法人・社団法人 → 回答終了となります。 <input type="checkbox"/> 3 株式会社・有限会社・合同会社・合資会社 → 選択されると回答終了となります。 <input type="checkbox"/> 4 特定非営利活動法人（NPO） → 選択されると回答終了となります。 <input type="checkbox"/> 5 上記1と3の共同体 <input type="checkbox"/> 6 その他の共同体 → 選択されると回答終了となります。 <input type="checkbox"/> 7 その他 → 選択されると回答終了となります。
10	指定管理期間	あなたの施設の現在の指定管理期間としてあてはまるものを選択してください。	Q9で1～5を選択	単一	<input type="checkbox"/> 1 3年未満 <input type="checkbox"/> 2 3～4年未満 <input type="checkbox"/> 3 4～5年未満 <input type="checkbox"/> 4 5～6年未満 <input type="checkbox"/> 5 6～7年未満 <input type="checkbox"/> 6 7～8年未満 <input type="checkbox"/> 7 8年以上
11	公募の有無	あなたの施設の現在の指定管理者の選定方法としてあてはまるものを選択してください。	Q9で1～5を選択	単一	<input type="checkbox"/> 1 公募 <input type="checkbox"/> 2 非公募
12	複数管理施設の有無	あなたの施設の指定管理者には、あなたの施設以外にも管理している施設がありますか。	Q9で1～5を選択	単一	<input type="checkbox"/> 1 ある <input type="checkbox"/> 2 ない

劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査
①施設向けアンケート 事前記入シート

NO	調査項目	設問	回答条件	回答方式	選択肢 ※緑色でハイライトされた部分は選択・記載いただく部分を示します。
13	最大ホール席数	あなたの施設が有するホールのうち、席数が最も多いホールの席数を選択してください。 ※席数には可動席、車椅子席を含めてお答えください。	Q9で 1-5を選択	単一	<input type="checkbox"/> 300席未満 →選択されると回答終了となります。 <input type="checkbox"/> 300～500席未満 <input type="checkbox"/> 500～1,000席未満 <input type="checkbox"/> 1,000～2,000席未満 <input type="checkbox"/> 2,000席以上
14	主催事業の実施有無	あなたの施設では令和4年度に主催事業を実施しましたか。	Q13で 2～5を選択	単一	<input type="checkbox"/> 1 はい <input type="checkbox"/> 2 いいえ
15	自主企画・制作と買取の比率	令和4年度に実施した主催事業について、「自主企画・制作（含む共催）」、「買取」のそれぞれの比率はどのようでしたか。次のうちから最もあてはまるものを選択してください。 ※ここでの「共催」とは名義のみの共催は含まず、共同主催として裏題として制作しているものを指します。	Q14で 1を選択	単一	<input type="checkbox"/> 1 「自主企画・制作（含む共催）」が大半 <input type="checkbox"/> 2 「自主企画・制作（含む共催）」がどちらかといえど多い <input type="checkbox"/> 3 「自主企画・制作（含む共催）」と「買取」が同じくらい <input type="checkbox"/> 4 「買取」がどちらかというど多い <input type="checkbox"/> 5 「買取」が大半
16	雇用形態別職員の有無	あなたの施設では令和5年10月1日時点で、次の雇用形態の職員が存在しますか。 存在するものを全て選択してください。 【回答における注意点】 ・主にあなたの施設の業務に従事している職員についてお答えください。 【対象とされない職員】 ・財団本部のみに所属している職員、主に他施設の業務に従事している職員 ・派遣事業者からの派遣職員、業務委託先の職員 ・非常勤の理事、役員等 ・貴施設と直接雇用契約を結んでいない芸術監督、プロデューサー等 ・正職員と比べて1日の所定労働時間が短い職員、あるいは1日の所定労働時間は同じでも1週の所定労働日数が少ない職員、雇用契約の期間が日々、または1か月未満の職員 【用語の定義】 フルタイムの職員…正職員と同様の1日の所定労働時間、1週の所定労働日数で働いている正職員以外の職員 ※通常は正職員及びフルタイムの職員として働いているが、育児・介護等により一時的に時短勤務を行っている職員や休職・休業中の職員も対象となります。	Q13で 2～5を選択	複数	<input type="checkbox"/> 1 正職員（期間の定め無し） <input type="checkbox"/> 2 フルタイムの職員（正職員以外・期間の定め無し） <input type="checkbox"/> 3 フルタイムの職員（正職員以外・期間の定め有り） <input type="checkbox"/> 4 設置者（地方自治体）からの出向・派遣 <input type="checkbox"/> 5 上記のいずれも存在しない →選択されると回答終了となります。

劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査
①施設向けアンケート 事前記入シート

NO	調査項目	設問	回答条件	回答方式	選択肢 ※緑色でハイライトされた部分は選択・記載いただく部分を示します。																																																																																																																									
17	業務内容別職員数①	<p>【説明文】以下の設問では各雇用形態を以下のように表記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正職員（期間の定め無し）「…正職員 ・フルタイムの職員（期間の定め無し）「…フルタイムの職員（定め無し）」 ・フルタイムの職員（正職員以外・期間の定め有り）「…フルタイムの職員（定め有り）」 ・設置者（地方自治体）からの出向・派遣「…設置者からの出向・派遣 <p>あなたの施設における令和5年10月1日時点の、雇用形態・主な担当業務別の職員数を選択してください。</p> <p>【回答における注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あてはまる職員が存在する項目のみ選択してください（0人の場合は選択不要です）。 ・1人の職員が複数の業務を担当している場合、最も従事している時間が長い役割でカウントしてお答えください。 <p>【対象とらない職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材団本部のみに所属している職員、主に他施設の業務に従事している職員 ・派遣事業者からの派遣職員、業務委託先の職員 ・非常勤の理事、役員等 ・貴施設と直接雇用契約を結んでいない芸術監督、プロデューサー等 <p>・正職員と比べて1日の所定労働時間が短い職員、あるいは1日の所定労働時間は同じでも1週以上の所定労働日数が少ない職員、雇用契約の期間が日々、または1か月未満の職員</p> <p>【用語の定義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営・管理担当…館内に関する業務、総務・経理・人事に関する業務、組織運営・管理（館長・支配人・事務局長等）、施設の維持管理（清掃、修繕等）に関する業務、会員組織の管理に関する業務を担当する職員をさします。 ・事業担当…施設オリジナルの公演事業の企画・実施に関する業務、既存公演事業の招聘・実施に関する業務、教育及事業の企画・実施に関する業務、広報・宣伝に関する業務、補助金・助成金の申請・管理に関する業務、寄付・協賛の獲得・管理に関する業務、チケットの販売・管理に関する業務を担当する職員をさします。 	単一	<p>Q16で 1～4を選択</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1人</th> <th>2人</th> <th>3人</th> <th>4人</th> <th>5人</th> <th>6人</th> <th>7人</th> <th>8人</th> <th>9人</th> <th>10人以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正職員</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>運営・管理担当</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>事業担当</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>舞台技術担当</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>フルタイムの職員（定め無し）</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>フルタイムの職員（定め有り）</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>設置者からの出向・派遣</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>設置者からの出向・派遣</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>設置者からの出向・派遣</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>設置者からの出向・派遣</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	正職員	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	運営・管理担当	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業担当	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	舞台技術担当	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	フルタイムの職員（定め無し）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	フルタイムの職員（定め有り）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	設置者からの出向・派遣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	設置者からの出向・派遣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	設置者からの出向・派遣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	設置者からの出向・派遣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上																																																																																																																				
正職員	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																				
運営・管理担当	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																				
事業担当	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																				
舞台技術担当	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																				
フルタイムの職員（定め無し）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																				
フルタイムの職員（定め有り）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																				
設置者からの出向・派遣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																				
設置者からの出向・派遣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																				
設置者からの出向・派遣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																				
設置者からの出向・派遣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																				
18	業務内容別職員数②	<p>（Q17のいずれかの項目で10人以上を選択された方にお伺いします）</p> <p>次の雇用形態・主な担当業務に係る具体的な職員数を記載してください。</p>	Q17で 10を選択	記述	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>フルタイムの職員（定め無し）</th> <th>フルタイムの職員（定め有り）</th> <th>設置者からの出向・派遣</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運営・管理担当</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>事業担当</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>舞台技術担当</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>		フルタイムの職員（定め無し）	フルタイムの職員（定め有り）	設置者からの出向・派遣	運営・管理担当	人	人	人	事業担当	人	人	人	舞台技術担当	人	人	人																																																																																																									
	フルタイムの職員（定め無し）	フルタイムの職員（定め有り）	設置者からの出向・派遣																																																																																																																											
運営・管理担当	人	人	人																																																																																																																											
事業担当	人	人	人																																																																																																																											
舞台技術担当	人	人	人																																																																																																																											

劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査
①施設向けアンケート 事前記入シート

NO	調査項目	設問	回答条件	回答方式	選択肢 ※緑色でハイライトされた部分は選択・記載いただく部分を示します。	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上
19	性・年代別職員数①	あなたの施設における【正職員】の性・年代別の職員数を選択してください。 ※令和5年10月1日時点についてお答えください。 ※あてはまる職員が存在する項目のみ選択してください（0人の場合は選択不要です）。	Q16で 1を選択	単一	男性 10~20代 30代 40代 50代 60代以上 女性 10~20代 30代 40代 50代 60代以上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20	性・年代別職員数②	あなたの施設における【フルタイムの職員（定め無し）】の性・年代別の職員数を選択してください。 ※令和5年10月1日時点についてお答えください。 ※あてはまる職員が存在する項目のみ選択してください（0人の場合は選択不要です）。	Q16で 2を選択	単一	男性 10~20代 30代 40代 50代 60代以上 女性 10~20代 30代 40代 50代 60代以上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21	性・年代別職員数③	あなたの施設における【フルタイムの職員（定め有り）】の性・年代別の職員数を選択してください。 ※令和5年10月1日時点についてお答えください。 ※あてはまる職員が存在する項目のみ選択してください（0人の場合は選択不要です）。	Q16で	単一	男性 10~20代 30代 40代 50代 60代以上 女性 10~20代 30代 40代 50代 60代以上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査
①施設向けアンケート 事前記入シート

NO	調査項目	設問	回答条件	回答方式	選択肢 ※緑色でハイライトされた部分は選択・記載いただく部分を示します。																																																																		
22	性別・年代別職員数④	(Q19～21のいずれかの項目で10人以上を選択された方にお伺いします) 次の雇用形態、性・年代に係る具体的な職員数を記載してください。	Q19～21で10を選択	記述	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">正職員</th> <th colspan="2">フルタイムの職員</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>定め無し</th> <th>定め無し</th> <th>定め無し</th> <th>定め有り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">男性</td> <td>10～20代</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女性</td> <td>60代以上</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>10～20代</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>50代</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>60代以上</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>			正職員		フルタイムの職員				定め無し	定め無し	定め無し	定め有り	男性	10～20代	人	人	人	人	30代	人	人	人	人	40代	人	人	人	人	50代	人	人	人	人	女性	60代以上	人	人	人	人	10～20代	人	人	人	人	30代	人	人	人	人	40代	人	人	人	人			50代	人	人	人			60代以上	人	人	人
		正職員		フルタイムの職員																																																																			
		定め無し	定め無し	定め無し	定め有り																																																																		
男性	10～20代	人	人	人	人																																																																		
	30代	人	人	人	人																																																																		
	40代	人	人	人	人																																																																		
	50代	人	人	人	人																																																																		
女性	60代以上	人	人	人	人																																																																		
	10～20代	人	人	人	人																																																																		
	30代	人	人	人	人																																																																		
	40代	人	人	人	人																																																																		
		50代	人	人	人																																																																		
		60代以上	人	人	人																																																																		
23	退職者の有無	あなたの施設では、令和4年度に正職員及びフルタイムの職員の退職がありましたか。	Q16で1～3を選択	単一 <input type="checkbox"/> 1 あった <input type="checkbox"/> 2 なかった																																																																			
24	退職者の数	では、何人の職員（正職員及びフルタイムの職員）の退職がありましたか。	Q23で1を選択	単一																																																																			
25	退職者の概要①	では、それぞれの退職者の雇用形態、性別、年代、主な業務、主な退職理由を選択してください。	Q24で1～9を選択	単一																																																																			
～		【用語の定義】 ・運営・管理担当…貸館に関する業務、総務・経理・人車に関する業務、組織運営・管理（館長、支配人・事務局長等）、施設の維持管理（清掃、修繕等）に関する業務、会員組織の管理に関する業務を担当する職員をさします。 ・事業担当…施設オリジナルの公演事業の企画・実施に関する業務、既存公演事業の招聘・実施に関する業務、教育及事業の企画・実施に関する業務、広報・宣伝に関する業務、補助金・助成金の申請・管理に関する業務、寄付・協賛の獲得・管理に関する業務、チケットの販売・管理に関する業務を担当する職員をさします。																																																																					
33																																																																							

劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査
①施設向けアンケート 事前記入シート

NO	調査項目	設問	回答条件	回答方式	選択肢 ※緑色でハイライトされた部分は選択・記載いただく部分を示します。
48	各種補助金等の採択有無	あなたの施設では、令和4年度に次の補助金・助成金等に採択されましたか。 採択されたものを全て選択してください。 ※あなたの施設として申請し、直接的に採択されたものについてのみお答えください。	Q16で 1~4を選択	複数	<input type="checkbox"/> 1 文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」 <input type="checkbox"/> 2 文化庁「劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業」 <input type="checkbox"/> 3 日本芸術文化振興会（芸術文化振興基金）「地域文化振興活動」 <input type="checkbox"/> 4 一般財団法人地域創造「地域の文化・芸術活動助成事業」 <input type="checkbox"/> 5 その他の補助金・助成金等 <input type="checkbox"/> 6 採択された補助金・助成金等はない
49	各種補助金等の採択額	それでは、令和4年度の次の補助金・助成金等の採択額を記載してください。 【回答における注意点】 ・千円未満は切り捨てにて記載してください。 ・同一の補助金等にて複数の事業が採択されている場合は、その合計額を記載してください。	Q48で 1~5を選択	記述	<input type="checkbox"/> 1 文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」 千円 <input type="checkbox"/> 2 文化庁「劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業」 千円 <input type="checkbox"/> 3 日本芸術文化振興会（芸術文化振興基金）「地域文化振興活動」 千円 <input type="checkbox"/> 4 一般財団法人地域創造「地域の文化・芸術活動助成事業」 千円 <input type="checkbox"/> 5 その他の補助金・助成金等 千円
50	総収入・人件費	あなたの施設の令和4年度の総収入と人件費を記載してください。 【回答における注意点】 ・千円未満は切り捨てにて記載してください。 ・正確な数字を把握するための負担が大きい場合や施設ごとの数字の判断が難しい場合は、おおよその数字の記載で構いません。 ・人件費の内数が判断できない場合は、空欄のままで結構です。	Q16で 1~4を選択	記述	総収入 千円 人件費総額 千円 うち〔正職員〕の人件費 千円 うち〔フルタイムの職員（定め無し）〕の人件費 千円 うち〔フルタイムの職員（定め有り）〕の人件費 千円
51	定期昇給の有無	あなたの施設では令和4年度中に、次の職員に対して定期昇給が行われましたか。	Q16で 1~2を選択	単一	<input type="checkbox"/> 1 正職員 <input type="checkbox"/> 2 フルタイムの職員（定め無し）
52	賃金増額の有無	あなたの施設では〔フルタイムの職員（定め有り）〕と契約を更新する際に賃金等の増額が行われていましたか。	Q16で 3を選択	単一	<input type="checkbox"/> 1 全ての職員について行われている <input type="checkbox"/> 2 大半の職員について行われている <input type="checkbox"/> 3 一部の職員について行われている <input type="checkbox"/> 4 行われていない
53	ペアの有無	あなたの施設では令和4年度中に、次の職員に対してペア（ベースアップ）が行われましたか。 雇用形態別にあってはまるものを選択してください。	Q16で 1~2を選択	単一	<input type="checkbox"/> 1 正職員 <input type="checkbox"/> 2 フルタイムの職員（定め無し）
54	ペアの率	では、何%のペア（ベースアップ）が行われましたか。 ※1) 数点第1位まで記載してください。	Q53で 1を選択	記述	<input type="checkbox"/> 1 正職員 % <input type="checkbox"/> 2 フルタイムの職員（定め無し） %
55	人事考課の有無	あなたの施設では次の職員に対して人事考課が行われていますか。 雇用形態別にあってはまるものを選択してください。	Q16で 1~3を選択	単一	<input type="checkbox"/> 1 正職員 <input type="checkbox"/> 2 フルタイムの職員（定め無し） <input type="checkbox"/> 3 フルタイムの職員（定め有り）

劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査
①施設向けアンケート 事前記入シート

NO	調査項目	設問	回答条件	回答方式	選択肢 ※緑色でハイライトされた部分は選択・記載いただく部分を示します。	正職員	フルタイムの職員
56	各種制度の適用	<p>あなたの施設では、次の制度が存在し、各職員に適用されますか。 雇用形態別に適用されるものを全て選択してください。</p> <p>【用語の定義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業年金…企業が従業員と給付の内容を約束し、高齢期において従業員がその内容に基づいた給付を受けられることができる制度で、国民年金、厚生年金各保険とは異なるものです。 ・精勤手当…無欠勤または欠勤が少ない場合に支給される手当 	Q16で 1～3を選択	複数	<p>1 賞与 <input type="checkbox"/></p> <p>2 退職金 <input type="checkbox"/></p> <p>3 企業年金 <input type="checkbox"/></p> <p>4 通勤手当 <input type="checkbox"/></p> <p>5 精勤手当 <input type="checkbox"/></p> <p>6 家族手当 <input type="checkbox"/></p> <p>7 住宅手当 <input type="checkbox"/></p> <p>8 特別休暇（夏季休暇、年末年始休暇） <input type="checkbox"/></p> <p>9 病欠休暇・休職 <input type="checkbox"/></p> <p>10 産休休暇 <input type="checkbox"/></p> <p>11 人間ドックの補助 <input type="checkbox"/></p> <p>12 福利厚生施設等の利用 <input type="checkbox"/></p> <p>13 上記のいずれの制度も適用されない <input type="checkbox"/></p>	<p>1 賞与 <input type="checkbox"/></p> <p>2 退職金 <input type="checkbox"/></p> <p>3 企業年金 <input type="checkbox"/></p> <p>4 通勤手当 <input type="checkbox"/></p> <p>5 精勤手当 <input type="checkbox"/></p> <p>6 家族手当 <input type="checkbox"/></p> <p>7 住宅手当 <input type="checkbox"/></p> <p>8 特別休暇（夏季休暇、年末年始休暇） <input type="checkbox"/></p> <p>9 病欠休暇・休職 <input type="checkbox"/></p> <p>10 産休休暇 <input type="checkbox"/></p> <p>11 人間ドックの補助 <input type="checkbox"/></p> <p>12 福利厚生施設等の利用 <input type="checkbox"/></p> <p>13 上記のいずれの制度も適用されない <input type="checkbox"/></p>	<p>フルタイムの職員 定め無し <input type="checkbox"/></p> <p>定め有り <input type="checkbox"/></p>
57	各種制度の活用実績	あなたの施設では令和4年度中に、次の制度が各職員に実際に活用された実績がありますか。 雇用形態別に実績があるものを全て選択してください。	Q16で 1～3を選択	複数	<p>1 特別休暇（夏季休暇、年末年始休暇） <input type="checkbox"/></p> <p>2 病欠休暇・休職 <input type="checkbox"/></p> <p>3 産休休暇 <input type="checkbox"/></p> <p>4 産前産後休業（産休） <input type="checkbox"/></p> <p>5 育児休業（育児） <input type="checkbox"/></p> <p>6 人間ドックの補助 <input type="checkbox"/></p> <p>7 福利厚生施設等の利用 <input type="checkbox"/></p> <p>8 上記のいずれの制度も活用された実績がない <input type="checkbox"/></p>	<p>正職員 <input type="checkbox"/></p> <p>フルタイムの職員 定め無し <input type="checkbox"/></p> <p>定め有り <input type="checkbox"/></p>	

劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査
①施設向けアンケート 事前記入シート

NO	調査項目	設問	回答条件	回答方式	選択肢 ※緑色でハイライトされた部分は選択・記載いただく部分を示します。										
58	人事異動の有無	あなただけの施設では、人材活用等の目的において、次の職員の担当業務や担当施設の変更が行われていますか。 雇用形態別にあてはまるものを全て選択してください。	Q16で 1～3を選択	複数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>正職員</th> <th>フルタイムの職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 同一施設内での担当業務の変更が行われている</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>2 同一業務での担当施設等 (含む本部への異動等) の変更が行われている</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>3 担当業務及び担当施設 (含む本部への異動等) の変更が行われている</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>4 上記のいずれも行われていない</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>	正職員	フルタイムの職員	1 同一施設内での担当業務の変更が行われている	<input type="checkbox"/>	2 同一業務での担当施設等 (含む本部への異動等) の変更が行われている	<input type="checkbox"/>	3 担当業務及び担当施設 (含む本部への異動等) の変更が行われている	<input type="checkbox"/>	4 上記のいずれも行われていない	<input type="checkbox"/>
正職員	フルタイムの職員														
1 同一施設内での担当業務の変更が行われている	<input type="checkbox"/>														
2 同一業務での担当施設等 (含む本部への異動等) の変更が行われている	<input type="checkbox"/>														
3 担当業務及び担当施設 (含む本部への異動等) の変更が行われている	<input type="checkbox"/>														
4 上記のいずれも行われていない	<input type="checkbox"/>														
59	改善が行われている事柄	あなたの施設では、職員の労働環境の改善や能力発揮のために、次の事柄に関して具体的な検討や取り組みが行われていますか。 行われているものを全て選択してください。	Q16で 1～3を選択	複数	<input type="checkbox"/> 1 職員の能力・気質に沿った業務の割り当て <input type="checkbox"/> 2 職員の関心に沿った業務の割り当て <input type="checkbox"/> 3 業務量・業務時間の削減 <input type="checkbox"/> 4 有給休暇の取得の促進 <input type="checkbox"/> 5 職場での意思疎通の向上・コミュニケーションの円滑化 <input type="checkbox"/> 6 昇給・昇格基準の明確化 <input type="checkbox"/> 7 福利厚生の実現 <input type="checkbox"/> 8 職員育成に係る各種制度・仕組みの改善・充実 <input type="checkbox"/> 9 上記のいずれも行われていない										
60	本アンケートに係る連絡事項	最後に本アンケートについてお気づきにおられた点や事務局への連絡事項などございましたら、記載してください。 ※任意回答	Q16で 1～4を選択	記述											
61	連絡先	ご回答いただいた職員様のご所属・お名前・メールアドレスを記載してください。 ※回答内容につき確認したことがある際のご連絡に使用いたします。	Q16で 1～4を選択	記述	<table border="1"> <tr> <td>ご所属</td> <td></td> </tr> <tr> <td>お名前</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メールアドレス</td> <td></td> </tr> </table>	ご所属		お名前		メールアドレス					
ご所属															
お名前															
メールアドレス															

劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査

令和5年度文化庁委託調査票

本調査は、今後の劇場、音楽堂等に対する支援施策の企画立案に必要な情報を収集するために、『文化庁』が実施するものです

ブロック1 施設の基本情報

1.本調査票の回答者【所属機関・団体名以外必須】

氏名			氏名ふりがな	
所在地	〒	《住所以下》		
連絡先電話番号				
メールアドレス				
所属機関・団体名				
部署・職名				

2.施設名称・住所【必須】

所在地	都道府県	都道府県以下
施設ID	施設名	

3.設置者について【必須】

1. 独立行政法人	2. 都道府県【都道府県名：	】
3. 政令指定都市【政令指定都市名：	4. 市町村/特別区【市町村/特別区名：	】
5. 一部事務組合/広域連合【団体名：	6. その他【団体名：	】

4.指定管理者制度の導入状況について【管理運営形態必須、指定管理者 補問1～6 必須】

管理運営形態	1. 指定管理者 ⇒ 補問1～6へ	2. 直営 ⇒ 補問5,へ	3. その他 ⇒ 補問5,へ
補問1 現在の指定管理者の名称			
補問2 現在の指定管理者の種別	1. 公益財団法人 2. 一般財団法人 3. 営利法人 4. NPO法人 5. 財団法人と営利法人による共同体 6. 財団法人とNPO法人による共同体 7. 複数の営利法人による共同体 8. NPO法人と営利法人による共同体 9. その他の構成の共同体 10. 上記以外の種別【具体的に： 】		
補問3 現在の指定管理者の選考方法	1. 公募 2. 非公募		
補問4 貴施設で最初に指定管理者制度が導入された時期	西暦 [] 年度		
補問5 現在の指定管理期間	西暦 [] 年 [] 月 ～ 西暦 [] 年 [] 月 [自動計算] ヶ月間		
補問6 利用料金制の導入	1. 導入している 2. 導入していない		

5.ホールの席数(席数が最も多いホール)について(車椅子席含む)【必須】

総席数(席)	
--------	--

6.運営方針の有無について

策定状況	1. 設置者が策定している	2. 運営者が策定している	3. 策定していない ⇒ 補問8
補問 今後運営方針を策定する予定はありますか。	1. 策定中	2. 策定予定	3. 予定なし

ブロック2 職員の状況

7.職員について（令和5年8月1日現在）

7-1.部門別の職員数 派遣・委託を含み、清掃・警備は含みません

① 運営全体の責任者(館長等)【必須】								
1.いる ⇒内訳へ 2.いない								
内訳	設置団体職員 もしくは 出向者(人)	直接雇用(人)			派遣(人)	委託(人)	その他(人)	計(人)
		無期	有期 (契約・嘱託等)	有期(長期パート・アルバイト)				
人数								(自動計算)

② 芸術に関する責任者(芸術監督等)【必須】								
1.いる ⇒内訳へ 2.いない								
内訳	設置団体職員 もしくは 出向者(人)	直接雇用(人)			派遣(人)	委託(人)	その他(人)	計(人)
		無期	有期 (契約・嘱託等)	有期(長期パート・アルバイト)				
人数								(自動計算)

③ 管理部門担当職員【必須】								
1.いる ⇒内訳へ 2.いない								
内訳	設置団体職員 もしくは 出向者(人)	直接雇用(人)			派遣(人)	委託(人)	その他(人)	計(人)
		無期	有期 (契約・嘱託等)	有期(長期パート・アルバイト)				
人数								(自動計算)

④ 事業部門担当職員【必須】								
1.いる ⇒内訳へ 2.いない								
内訳	設置団体職員 もしくは 出向者(人)	直接雇用(人)			派遣(人)	委託(人)	その他(人)	計(人)
		無期	有期 (契約・嘱託等)	有期(長期パート・アルバイト)				
人数								(自動計算)

⑤ 舞台技術担当職員【必須】								
1.いる ⇒内訳へ 2.いない								
内訳	設置団体職員 もしくは 出向者(人)	直接雇用(人)			派遣(人)	委託(人)	その他(人)	計(人)
		無期	有期 (契約・嘱託等)	有期(長期パート・アルバイト)				
人数								(自動計算)

⑥ その他【必須】								
1.いる ⇒内訳へ 2.いない								
内訳	設置団体職員 もしくは 出向者(人)	直接雇用(人)			派遣(人)	委託(人)	その他(人)	計(人)
		無期	有期 (契約・嘱託等)	有期(長期パート・アルバイト)				
人数								(自動計算)

7-2.年齢別職員数

年齢	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計(人)
						(自動計算)

8.職員の採用について

令和4年度直接採用者【必須】	1. いる ⇒ 補問1、2へ	2. いない
補問1 採用理由(複数回答可)	1. 欠員補充	2. 事業拡大による増員
補問2 採用者の経歴 (複数回答可)	1. 新卒・未経験者 3. 経験者(文化業界以外)	2. 経験者(他館、文化団体等文化業界から) 4. わからない

9.専門的人材の確保について

専門的人材の確保【必須】	1. 確保されている	2. 確保されていない ⇒ 補問1、2へ
補問1 今後、確保が必要な専門的 人材 (複数回答可)	1. 芸術監督等 3. 管理・運営を行う人材 5. ファンドレイジングを行う人材 7. 実演家 9. わからない	2. 公演などの企画制作を行う人材 4. マーケティングを行う人材 6. 舞台技術者 8. その他[具体例：]
補問2 課題(複数回答可)	1. 専門的人材を探すルートがない 3. 人材育成のOJTの場が不足 5. 人事異動が頻繁であり、ノウハウが継承できない 7. 専門的人材が身近な地域で見つからない 9. 職務に相応しい給与・待遇が確保できていない 11. 定着率が低い、離職者が多い 13. わからない	2. 人材を評価するノウハウが不足 4. 人材を確保する財源が不足 6. 外部人材を正規雇用できない 8. 短期契約のため人材が育成できない 10. 若手の人材が採用できない 12. その他[具体例：]

ブロック4 令和4年度の事業実施状況

12.主権文化事業〈公演〉(令和4年度実績)について【それぞれの実施「有無」のみ必須】

類型		実施有無	年間事業数 (件)	年間実施回数 (回)	年間入場者・ 参加者数(人)	入場料収入 (千円)	総支出額 (千円)	協賛金・助成金収入 額(千円)
主権文化事業 《合計》		有・無						
実施 方法 内訳	自主企画・制作	有・無						
	買取	有・無						
	共催・提携	有・無						
ジャンル 内訳	音楽	有・無						
	演劇	有・無						
	舞踊	有・無						
	伝統芸能	有・無						
	演芸	有・無						
	総合	有・無						
	上記以外の文化芸術系公演	有・無						
	文化芸術系以外の講演等	有・無						

13.人材養成事業(令和4年度実績)について【それぞれの実施「有無」のみ必須】

類型	実施有無	年間事業数 (件)	年間実施回数 (回)	年間入場者・ 参加者数(人)	入場料収入 (千円)	総支出額 (千円)	協賛金・助成金収入 額(千円)
人材養成事業	有・無						
自館で行う養成事業	有・無						
アートマネジメント人材	有・無						
舞台技術者	有・無						
実演家	有・無						
ボランティア	有・無						
その他[具体例：]	有・無						
他施設・大学等との連携事業	有・無						

14.普及啓発事業(令和4年度実績)について【それぞれの実施「有無」のみ必須】

類型	実施有無	年間事業数 (件)	年間実施回数 (回)	年間入場者・ 参加者数(人)	入場料収入 (千円)	総支出額 (千円)	協賛金・助成金収入 額(千円)
普及啓発事業	有・無						
ワークショップ	有・無						
普及型公演	有・無						
アウトリーチ	有・無						
その他[具体例：]	有・無						

15.事業運営にあたっての課題【必須】(複数回答可)

1. 事業予算が確保できない	2. 事業を企画・実施するための人材が不足している
3. 長期的な視野に立った継続事業が実施できない	4. 利用者が固定化し、新規利用が伸び悩んでいる
5. 地域の文化団体との関係づくりがうまくできない	6. 学校教育、福祉、観光等、他の分野・関連施設と連携が進まない
7. 市民参画を推進したいが人材・ノウハウが不足している	8. 普及啓発事業を行いたいとその体制・予算がない
9. 実演家・実演団体等とのネットワークがない	10. 事業の評価方法がわからない
11. その他[具体例：]	12. 特になし

16.貸館事業(令和4年度実績)について【それぞれの実施「有無」のみ必須】

ジャンル	実施有無	年間事業数 (件)	年間公演回数 (回)	年間入場者・ 参加者数(人)
貸館事業	有・無			
音楽	有・無			
演劇	有・無			
舞踊	有・無			
伝統芸能	有・無			
演芸	有・無			
総合	有・無			
上記以外の文化芸術系公演	有・無			
文化芸術系以外の講演等	有・無			

ブロック5 その他の活動等

17.配慮を要する利用者への受け入れ体制【実施の有無のみ必須】

対応の実施の有無【必須】	1. 実施している⇒ 補問 1～3 へ	2. 実施していない
補問 1 対象としている層(複数回答可)	1. 障害者 3. 認知症の方 5. 外国人(日本語能力が低い方)	2. 高齢者 4. 乳幼児連れの方 6. その他[具体例:]
補問 2 実施内容(複数回答可)	1. 職員研修の実施 3. 合理的配慮実施 5. 施設案内表示の多言語化 7. ひらがな表記の実施 9. 障害者向け公演・イベントの実施 11. 子連れの方向け公演・イベントの実施 13. アウトリーチ等の実施	2. 対応マニュアルの整備 4. 視聴覚障害者向けパンフ・ガイドの用意 6. パンフレットの多言語対応 8. ウェブサイトの多言語化 10. 鑑賞サポートの実施 12. 保育サービスの実施 14. その他[具体例:]
補問 3 実施にあたっての課題	1. 専門性を持った人材の不足 3. 対応マニュアル等の未整備 5. 利用可能な補助金、助成金不足 7. その他[具体例:]	2. ノウハウ等の研修機会の不足 4. 財源の不足 6. 外国人向け事業企画ノウハウ不足 8. 特にない

18.地域・社会貢献活動の実施について【実施の有無のみ必須】

地域・社会貢献活動の実施の有無【必須】	1. 実施している ⇒ 補問 1～4	2. 実施していない
補問 1 実施している(実施した)分野(複数回答可)	1. 教育・子育て 3. 障害者 5. コミュニティ・地域づくり 7. 観光・シティセールス・地域PR 9. 復興支援 11. 環境・エコ・自然保全 13. その他[具体例:]	2. 福祉・介護 4. 社会的弱者対策(貧困、ひきこもり等) 6. 商店街連携・賑わいづくり 8. 産業連携・商品開発 10. 国際交流・外国人受け入れ 12. 学術・研究
補問 2 活動形態(複数回答可)	1. 公演・イベントの実施 3. ワークショップ、セミナー、教室、講座 5. 人員・ボランティア提供 7. 寄付・募金 9. その他[具体例:]	2. アウトリーチ活動 4. インターン、人員受け入れ 6. 施設開放 8. 共同事業・施設連携・組織連携
補問 3 提携先団体(複数回答可)	1. 子育て・学校・教育機関、団体 3. 障害者団体 5. 商店会・商業施設等 7. 商工会・企業等 9. 環境・エコ・自然保護関係団体 11. 設置自治体 13. 文化芸術団体(プロ) 15. その他[具体例:]	2. 福祉・介護団体 4. コミュニティ・地域づくり団体 6. 観光協会、観光関連業者 8. 国際交流・国際親善・外国人団体 10. 大学・研究機関 12. スポーツ団体 14. 文化芸術団体(アマチュア)
補問 4 実施にあたっての課題(複数回答可)	1. 自治体の理解や問題意識の不足 3. 財源確保・助成制度の確立 5. 市民とのコミュニケーション 6. 指定管理者制度上の問題(継続性、公募の弊害、指定管理料等) 7. その他[具体例:]	2. 地域貢献活動を行うべき根拠の脆弱性 4. 専門人材の確保・育成 8. 特にない

19.その他

その他調査について連絡事項等ありましたらご記入ください。

ARTS MANAGEMENT SEMINAR

2024

2.1(thu) - 3.17(sun)

ONLINE PROGRAM
いつでもどこでもみれる

全国劇場・音楽堂等職員
アートマネジメント研修会



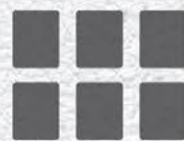
令和5年度文化庁委託事業
劇場・音楽堂等基盤整備事業

オンライン配信プログラム

配信期間：令和6年2月1日[木]～3月17日[日]



THE ASSOCIATION OF PUBLIC THEATERS AND HALLS IN JAPAN
公益社団法人全国公立文化施設協会



令和5年度文化庁委託事業 劇場・音楽堂等基盤整備事業
全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

ONLINE PROGRAM

オンライン配信プログラム 配信期間：令和6年2月1日(木)～3月17日(日)

お互いにこれはなんだろうと興味を持って
つながる・場を共有する

■近藤良平氏に聞く 「埼玉回遊」と休館中の事業実施について

講師：近藤良平 演出家・ダンサー、コンドルズ主宰、彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督
進行：大堀久美子 編集者、ライター

講義概要 彩の国さいたま芸術劇場の大規模改修工事のための休館を機に始まったプロジェクト「埼玉回遊」。埼玉県内各地を巡り、多彩な文化を探索する本プロジェクトを中心に、近藤良平氏の地域での活動と、劇場休館中の事業実施についてお話を伺います。



竹間沢車人形保存会@三芳町 ©湯越慶太

上映機材を持ってなくてもできる？
予算はどれくらい？

■中小規模館でもできる 「映画上映会」の可能性を考える

講師：前原美穂 山口情報芸術センター(YCAM) 学芸普及課 シネマキュレーター
モデレーター：木全義男 (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー

講義概要 デジタルシネマとは、映面上映の機材は、など映面上映の基礎的なことを学び、予算の少ない中小規模館でも「こうすればできる」というノウハウやホールを上映に適した環境にする工夫、集客の工夫を考えます。併せて、YCAMの先進的な事例を通して公共劇場で映面上映を行う意義についても深掘りします。

線引きが難しく何も言えなくなる？
ハラスメントかどうかの基準とは

■劇場・音楽堂等におけるハラスメント ～予防のための基礎知識とケーススタディ～

講師：横松裕子 舞会芸術制作者、
上級ハラスメント対策アドバイザー(一社)ハラスメント対策協会
モデレーター：鈴木順子 (公社)東京歴史文化財団 東京芸術劇場 副館長

講義概要 2022年4月1日より、パワハラ防止法に基づき、事業主は職場におけるパワーハラスメント防止のための措置を講じることが義務化されました。まずは「ハラスメントとは何か」「どういったことがハラスメントに当たるのか」という基礎知識を身につけ、劇場・音楽堂等で起こり得るケースについて考えます。

管理主体の“業務”から
顧客志向の“事業”へ

■シリーズ「貸館を考える」 ～先進事例に学ぶ貸館事業について～

講師：生田雅明 (公社)三重県文化振興事業団 三重県総合文化センター
施設利用サービスセンター 施設運営課 課長
モデレーター：関瀬潤一 (公社)全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー

講義概要 各施設で行われている「施設提供事業」いわゆる貸館事業の活性化を期待するプログラム。ホール貸し出し時のオプションサービスを考え提供するなど、ホスピタリティの向上で利用者の満足度を上げる工夫をしている三重県総合文化センターの事例を紹介し、戦略的に貸館を考え利用率の向上を図るきっかけとする講座です。

消費エネルギーを低減するには？
デマンド値とは？

■あなたの施設でできる、光熱費節約のヒント

講師：長谷川祥久 (有)香山建築研究所 代表取締役所長
南井克夫 (株)増増エンジニアリング 代表取締役
モデレーター：矢作勝義 (公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター

講義概要 各公立文化施設で喫緊の課題となっている光熱費の高騰。ご自身の施設で最もエネルギーを使用しているのは何か、どの季節にどれくらい使用しているか、把握していますか？大きな削減は難しくても、何らかの工夫で数パーセントでも節約できないか…光熱費節約の可能性を考えます。

2.1(thu)-3.17(sun)

公開フォーラム

■ 劇場を開く、市民と繋がる、地域を創造する。 ～劇場のコーディネート機能を開拓する～

講義概要 鑑賞の場としてだけでなく、人が集まり交流、活動する場、そして地域の創造、再生、発展に寄与することを期待される劇場・音楽堂等。地域に根差し、市民やさまざまな団体と連携、協働し、「新しい広場」「世界への窓」として地域の文化拠点になるために何が必要なのか。さまざまなフィールドの最前線で活躍する3人の講師と共に、これから次の一歩をどこに向けて踏み出したらいいのかを考えます。

□ はじめに

モデレーター：水戸雅彦 (公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター

“対話の文化”のもと 進化する住民参画

□ プログラム(1)

市民主体の活動が可能性の限界を超えていく
～みの～れで育まれた住民と行政の共創～

講師：中本 正樹 小笠原市生活文化課 四季文化館みの～れ 館長補佐・事業統括

「行ったらあかん」と言われたまちで 安心して表現できる場をつくる

□ プログラム(2)

釜ヶ崎芸術大学は誰もが表現者
～社会包摂の表現の場づくりから地域へ～

講師：上田 假奈代 詩人、NPO法人えとことばとこころの部屋(コロールム)代表理事

つまらない？ おもしろい？ 価値・意味は〇〇によって変化する

□ プログラム(3)

生きるためのそうぞうする力
～地域社会に新しい変容を促す～

講師：藤 浩志 美術家、秋田市文化創造館 館長、秋田公立美術大学 教授

ゆるやかなネットワークをつくる “開く”の裏には“閉じる”がある

□ プログラム(4) クロストーク

講師・モデレーター 全員

人材養成講座

危険なこと 禁止行為 施設側で判断すること

■ 舞台技術と安全管理 ～工夫から生まれる安全対策～

講師：伊藤久幸 (公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター

講義概要 技術スタッフだけでなく、すべての劇場・音楽堂等職員が考えていくべき舞台の安全管理についてお話しします。危険なこと、禁止行為、施設側で判断すべきことは？札幌文化芸術劇場 hitaruでの安全対策の取り組みについてもご紹介します。

■ 過年度プログラム再配信

文化政策と劇場・音楽堂等(令和3年度プログラム)

講師：柴田英紀 (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー

劇場・音楽堂等の事業、危機管理とリスク対応 (令和3年度プログラム)

講師：関瀬 勝一 (公社)全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー

自治体文化政策と劇場・音楽堂等(令和4年度プログラム)

講師：中川 幾郎 (公社)全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー

ワークショップ(対面開催)

ワークショップ1 ※受講申込は終了しました

次世代リーダー養成プログラム

講師兼モデレーター：柴田英紀 (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー

開催日：令和6年2月14日(水)・15日(木)

会場：東京都中小企業会館 講堂

ワークショップ2 ※受講申込は終了しました

『広報の考え方の基本』～ワークショップ

講師：阿南 一徳 東京藝術大学 演劇芸術センター 准教授

開催日：令和6年2月20日(火)

会場：東京都中小企業会館 講堂

ONLINE PROGRAM

受講申込

詳しくは
ウェブサイトをご覧ください。

全国劇場・音楽堂等職員
アートマネジメント研修会ウェブサイト

www.zenkoubun.jp/arts_management/



ご注意：

- ・視聴に関わる通信費用は視聴者のご負担となります。
- ・配信映像は、ネットワークの回線状況や視聴者側の環境により、再生が出来ない場合や画面・音声不安定になる場合があります。ご了承ください。

主催：文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会

問い合わせ先：

公益社団法人全国公立文化施設協会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館4階
tel 03-5565-3030 fax 03-5565-3050
e-mail art@zenkoubun.jp



令和5年度文化庁委託事業 劇場・音楽堂等基盤整備事業

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会



公開収録 参加者募集!!!

2024年2月～3月に配信予定のオンラインプログラムの公開収録を行います

(事前申込制・先着順)

劇場を開く、市民と繋がる、地域を創造する。

～劇場のコーディネート機能を開拓する～

鑑賞の場としてだけでなく、人が集まり交流、活動する場、そして地域の創造、再生、発展に寄与することを期待される劇場・音楽堂等。地域に根差し、市民やさまざまな団体と連携、協働し、「新しい広場」「世界への窓」として地域の文化拠点になるために何が 필요한のか。

さまざまなフィールドの最前線で活躍する3人の講師と共に、これから次の一步をどこに向けて踏み出したらいいいのかを考えます。

【日 時】 2023年 10月31日(火) 11:00～16:00

【会 場】 東京都中小企業会館9階 講堂 (東京都中央区銀座2-10-18)

【対 象】 劇場・音楽堂等職員、地方自治体の文化芸術振興担当者, アートマネジメント教育関係者, 学生, アートマネジメントに関心のある方, 一般の方等

【定 員】 30名 (申込先着順)

【参加費】 無 料

【主 催】 文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会

プログラム<予定>		※現時点の予定であり、変更になる場合があります
11:00～11:15	開会のご挨拶・導入	挨拶：全国公文協 モデレーター：水戸 雅彦 (全国公文協 コーディネーター)
11:15～12:00	プログラム(1) 市民主体の活動が可能性の限界を超えていく ～みの～れで育まれた住民と行政の共創～	講師：中本 正樹 (小美玉市生活文化課 四季文化館みの～れ 館長補佐・事業統括)
<昼食休憩>		
13:00～13:45	プログラム(2) 釜ヶ崎芸術大学は誰もが表現者 ～社会包摂の表現の場づくりから地域へ～	講師：上田 假奈代 (詩人、NPO法人こえとことばとこころの部屋 (ココルーム) 代表理事)
13:50～14:35	プログラム(3) 生きるためのそうぞうする力 ～地域社会に新しい変容を促す～	講師：藤 浩志 (美術家、秋田市文化創造館 館長、 秋田公立美術大学 教授)
14:45～16:00	プログラム(4) クロストーク	講師・モデレーター 全員

* 申込方法は次のページをご覧ください *





参加申込（事前申込制）

- 申込期間：2023年10月3日(火)～定員に達し次第受付終了
- 申込方法：「申込に際しての確認事項」を必ずご確認の上、申込フォームに必要事項を入力し送信してください。

※先着順での受付です。お早めにお申し込みください。

※プログラム単位ではなく、全体を通してのご参加をお願いいたします。

※申込から3営業日以内に、入力いただいたメールアドレスに返信いたします。

数日経っても返信がない場合はお手数ですがお問い合わせください。

<申込に際しての確認事項>

- (1) 本講座は、全国アートマネジメント研修会のオンライン配信講座の公開収録です。
 - ・参加者の様子や発言がオンライン配信映像に含まれる場合がございます。(※)
 - ・会場の中央に撮影機材を設置するため、講師やスクリーンが見えづらい場合がございます。以上の点にご了承の上お申し込みください。(※個人名・ご所属等を公開することはありません)
- (2) 映像収録のほか、事業報告書作成のために録音及び写真撮影をいたします。
- (3) 当該申込で取得した個人情報は、個人情報保護法の趣旨に則って取り扱うものとし、当協会が実施する他の事業の案内の目的で利用する場合があります。

- 申込フォーム：<https://www.zenkoubun.jp/training/art.html>
- お問い合わせ先：(公社)全国公立文化施設協会 <<https://www.zenkoubun.jp/>>
全国アートマネジメント研修会担当
TEL:03-5565-3030 E-mail:art@zenkoubun.jp





令和5年度文化庁委託事業 劇場・音楽堂等基盤整備事業

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

ワークショップ1 「次世代リーダー養成プログラム」

— 募集要項 —

開催日時
2日間

令和6年 2月14日(水) 13:00～18:30(延長19:30迄)
2月15日(木) 9:30～17:00

※2月5日(月)に、Zoomによる事前レクチャーを予定しております。
ご都合が悪く参加できない場合は、録画動画を受講前にご覧いただく形になります。

会場

東京都中小企業会館 9階 講堂 (東京都中央区銀座2-10-18)

参加費

無料

対象者

劇場・音楽堂等職員 経験5年～10年未満の若手中堅職員の方

募集定員

20名

講師兼
モデレーター

柴田 英紀 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー

ファシリテーター

大久保 充代 (公社) 全国公立文化施設協会 コーディネーター
木全 義男 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー
間瀬 勝一 (公社) 全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー
水戸 雅彦 (公社) 全国公立文化施設協会 コーディネーター

◆ 講座概要 ◆

「将来、どのような劇場職員を目指したいのか」「自身のキャリア形成をどのように考えるのか。」若手中堅職員にとっては自身の人生設計に関わる重要なテーマです。本研修は、組織コミュニケーションという観点から、公立劇場におけるリーダーシップについて、望ましいリーダー像を議論し、将来自身がどのようなリーダーを目指すかを考えます。

また、真摯に自分と向き合うことで、自身のキャリア形成について考えるきっかけをつくります。単にリーダーシップ力を向上させるのではなく、若手中堅リーダーとしての自覚を喚起し、今後の劇場運営の糧となるような気づきの場とすることを目的とします。

ファシリテーターには、現職の館長を始め、館長職を経験したベテラン劇場人材が参加者の思いを受け止め、適切な助言アドバイスを行います。

— プログラムの内容 (予定) —

(受講者決定後アンケートを実施し、内容を調整する予定です)

- 1日目 ◆ リーダーシップを考えるための資源を引き出す
現行リーダー(館長、管理職、直属上司等)と職員の関係について
- ◆ **レクチャー** リーダーシップ理論
 - ◆ **ワークショップ** リーダーシップを考える (リーダーシップ理論について意見交換)
- 2日目 ◆ **ワークショップ** リーダーシップを考える (公立劇場におけるリーダーシップについて)
- ◆ **ワークショップ** 望ましいリーダー像について
 - ◆ **ワークショップ** 自分が目指すリーダー像を明らかにする
 - ◆ 成果発表

申込方法 受付期間：令和5年11月15日（水）～12月20日（水）【**締切厳守**】

1. 下記の申込書類（様式あり）を、メールでご提出ください。

① 受講申込書 [様式1]

氏名・所属・連絡先のほか、質問事項にご回答ください。

② 所属長の推薦書 [様式2]

勤務先の所属長（管理職以上の方）の推薦をいただいでください。

▼様式はこちらのページでダウンロードしてください。

https://www.zenkoubun.jp/arts_management/app/workshop01/

▼申込書類の提出先

件名を「ワークショップ申込」とし、メール添付でお送りください。

✉ art@zenkoubun.jp（全国アートマネジメント研修会担当宛て）

2. お申込から3営業日程度で、受付確認の返信をいたします。

* 数日経っても返信がない場合はお手数ですがお問い合わせください。

3. 申込多数の場合は、応募書類による選考をいたします。

* 選考にあたっては、地域性、施設特性、ジェンダーバランス、勤務年数などを加味して決定いたします。

* 結果は、1月中旬頃に申込者全員にメールで通知する予定です。

主 催 文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会

申込・お問合せ先 （公社）全国公立文化施設協会 全国アートマネジメント研修会担当
TEL: 03-5565-3030 E-mail: art@zenkoubun.jp



THE ASSOCIATION OF PUBLIC THEATERS AND HALLS IN JAPAN
公益社団法人全国公立文化施設協会



令和5年度文化庁委託事業 劇場・音楽堂等基盤整備事業

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

ワークショップ2 『広報の考え方の基本』～ワークショップ

— 募集要項 —

- 開催日時** 令和6年2月20日(火) 13時～17時(時間の詳細は後日決定)
- 会場** 東京都中小企業会館 9階 講堂 (東京都中央区銀座2-10-18)
- 参加費** 無料
- 対象者** 劇場・音楽堂等に勤めている方で、現在、広報業務に携わっている方
- 募集定員** 15名程度
- 講師** 阿南 一徳 (東京藝術大学 演奏芸術センター 准教授)

◆ 講座概要 ◆

はじめに「広報の考え方の基本」についてお話しし、一方的なノウハウの伝達ではなく、各自の事情に応じた広報戦略を立案できるようになることを目指すワークショップです。

*ワークショップの内容としては以下のようなもののいずれかを考えています。
(受講者決定後、内容を決定します)

- ・ 広報の資料作り実践
- ・ 広報の文章講座
- ・ 模擬プレゼンテーション (記者発表)
- ・ チラシ、ポスターの制作シミュレーション
- ・ キャッチコピーを書いてみよう など

申込 劇場・音楽堂等1施設につきその施設に所属する1名まで

※ ご所属施設で申込者をご調整の上お申込みください。

※ なお、管理する劇場・音楽堂等からの申込者がいない場合に限り、指定管理者である団体の広報担当者は、1団体につき1名まで申込可とします。

申込方法 受付期間：令和5年12月4日(月)～12月25日(月)

申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。

* 申込多数の場合は、抽選を実施いたします。結果は1月中旬までに申込者全員にメールで通知します。

* フォーム送信後のメール返信はございません。

「お申込ありがとうございました」という画面が表示されれば、送信完了となります。

* 送信後に表示される「回答のPDFを印刷または入手する」から、申込内容の印刷が可能です。

▼申込フォームはこちらから

https://www.zenkoubun.jp/arts_management/app/workshop02/

主催 文化庁・公益社団法人 全国公立文化施設協会

お問合せ先 公益社団法人 全国公立文化施設協会 全国アートマネジメント研修会担当

TEL: 03-5565-3030 E-mail: art@zenkoubun.jp



「全国劇場・音楽堂等職員 舞台技術研修会」

－改修における舞台技術者の関りと安全管理－

- 1 主催 文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会
- 2 開催 令和5年9月27日(水)・28日(木)
- 3 会場 KAAT 神奈川芸術劇場(〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 281)
アクセス:<https://www.kaat.jp/access>
- 4 受付 KAAT 神奈川芸術劇場
- 5 対象
 - ・劇場・音楽堂等の舞台技術管理者及び舞台技術管理責任者または舞台技術担当職員
(指定管理者、舞台業務受託者に属する者を含む)
 - ・文化行政主管部局の舞台技術担当職員
 - ・劇場・音楽堂等関係者、その他舞台技術関係者、舞台技術に関心のある者 等
- 6 講座 個別のプログラム内容は2ページをご覧ください。
- 7 お申込 受付期間 令和5年8月1日(火)～ 令和5年9月20日(水)
申込方法 公益社団法人全国公立文化施設協会 ホームページからお申込みください。
<https://www.zenkoubun.jp/training/technic.html>
- 8 お申込み内容の確認・変更について
 - ・Web 申込後、自動返信で受講受付内容及び受講生番号が返送されます。内容をご確認ください。
 - ・申込内容の変更をご希望の方は、お電話で事務局までご連絡ください。
- 9 その他 ※
プログラム4は「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン」を用いて講義をします。
テキストとして使用しますので、当日受付にてお求めくださいますようお願いいたします。
販売価格は1000円(税込)となります。(お支払いは現金対応のみ)
すでに お持ちの方はご持参くださいますようお願いいたします。

事務局

公益社団法人 全国公立文化施設協会
〒104-0061 東京都中央区銀座 2-10-18 東京都中小企業会館 4F
電話:03-5565-3030 FAX:03-5565-3050
E-mail:tech@zenkoubun.jp

プログラム

劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な、専門的知識や技術の習得を図るための研修会です。本研修では、1日目に改修時のお話を交え照明のLED化に係る講座を、2日目は安全管理をテーマに、日々の運営における課題と解決策のヒントとなるための技術講座をお届けします。皆様のご参加をおまちしています。

9/27 水	プログラム内容	講師
9:30~	受付	
10:00~	開講式	挨拶 (公社)全国公立文化施設協会
10:10 ~12:00	<u>プログラム1</u> 改修の流れと改修時における 舞台技術者の関わり	米森健二氏 有限会社空間創造研究所 代表取締役
12:00~	休憩(60分)	
13:00 ~14:05	<u>プログラム2</u> 客席空間におけるLEDダウンライトの 課題および対応事例紹介	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 東芝ライテック株式会社
14:05~	休憩(15分)	
14:20 ~17:00	<u>プログラム3</u> 舞台照明のLED化に向けた システム事例紹介と運用の課題と工夫 ~施設管理と利用の立場から~	株式会社松村電機製作所 丸茂電機株式会社 大石真一郎氏 KAAT 神奈川芸術劇場 プロダクションオフィス ほか

9/28 木	プログラム内容	講師
9:30~	受付	
10:00 ~12:00	<u>プログラム4</u> (テキスト販売 ※) 安全な施設運営のために、劇場技術管理者 が考えなければいけないこと	堀内真人氏 劇場等演出空間運用基準協議会 会長/KAAT 神奈川 芸術劇場副館長
12:00~	休憩(60分)	
13:00 ~15:50	<u>プログラム5</u> 施設技術管理の立場から 「高所作業」を考える	新島啓介氏 東京芸術劇場 舞台管理担当主任/フルハーネス型墜 落制止用器具取扱特別教育インストラクター
15:50~	閉講式	挨拶 (公社)全国公立文化施設協会
16:00 ~17:30	施設見学会	KAAT 神奈川芸術劇場 舞台技術課

※ テキスト「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン」

令和5年度 文化庁委託事業
劇場・音楽堂等基盤整備事業報告書

令和6年（2024年）3月発行

編集発行 公益社団法人全国公立文化施設協会
〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18
東京都中小企業会館4F
電話 03-5565-3030 FAX 03-5565-3050
編集協力 株式会社ステラ
